

Go To 東武東上線 大学トラベル
沿線の26大学ぜんぶ歩いてみた
丹野義彦

東武東上線の大学散歩

コロナ禍による外出自粛期間中、体力が落ちないように、東武東上線の大学をめぐる散歩をしていた。東武東上線には、駅から歩いて行ける距離の大学がたくさんあり、ちょうどよい散歩コースとなった。郊外の方へ向かうので、電車もすいていたし、人と話す機会も少なく、感染の心配も少ない。写真が少したったのでまとめてみることにした。

ウィズコロナの時代 東武東上線の文化的・アカデミックな名所をめぐる



東武東上線の5区間と、生越線と秩父鉄道を加えた7区間に分けて見ていきたい。

- 第1区間 都内区間 池袋駅～成増駅
- 第2区間 メイン区間 和光市駅～川越駅
- 第3区間 近郊区間 川越市駅～坂戸駅
- 第4区間 田園区間 北坂戸駅～小川町駅
- 第5区間 山間区間 東武竹沢～寄居
- 第6区間 生越線
- 第7区間 秩父鉄道

本稿の内容

本稿の内容は、次の表のとおりである。
 大学に関連する施設26カ所を紹介する。
 また、研究施設、学校遺産、社会教育施設（博物館など）など、大学以外の見どころも紹介することにした。東武東上線の文化的・アカデミックな名所を紹介したい。

● G o T o 東武東上線 大学トラベル 沿線の26大学ぜんぶ歩いてみた
目次

| | 駅名 | 大学（26大学） | 大学以外 |
|---------------|-------------|----------------------------------|--|
| 第1区間 都内区間 | TJ-1 池袋駅 | 立教大学 自由学園 帝京平成大学 東京福祉大学 | 豊島師範学校跡（後の東京学芸大学） 成蹊実務学校（後の成蹊大学） 旧江戸川乱歩邸 自由学園 明日館 |
| | TJ-2 北池袋駅 | 東京交通短期大学 | 昭和鉄道高等学校 |
| | TJ-4 大山駅 | 日本大学医学部 | |
| | TJ-5 中板橋駅 | | いたばしボローニャこども絵本館 |
| | TJ-6 ときわ台駅 | 淑徳大学 | |
| | TJ-8 東武練馬駅 | 大東文化大学 | |
| | TJ-10 成増駅 | もと日本大学附属病院 | 光が丘公園 |
| 第2区間 メイン区間 | TJ-12 和光市駅 | | 理化学研究所 |
| | TJ-13 朝霞台駅 | 東洋大学 | |
| | TJ-14 志木駅 | 立教大学 | 慶應義塾志木高等学校 野火止用水 |
| | TJ-18 ふじみ野駅 | 文京学院大学 | |
| | TJ-20 新河岸駅 | 東邦音楽大学 | |
| 第3区間 近郊期間 | TJ-21 川越駅 | 埼玉医科大学クリニック | 川越高等学校 喜多院 |
| | TJ-22 川越市駅 | 尚美学園大学 | |
| | TJ-23 霞ヶ関駅 | 東京国際大学 | 牛塚遺跡 |
| | TJ-24 鶴ヶ島駅 | 東洋大学 | |
| 第4区間 田園区間 | TJ-25 若葉駅 | 女子栄養大学 | 筑波大学附属坂戸高等学校 |
| | TJ-27 北坂戸駅 | 東京電気大学 | |
| | TJ-28 高坂駅 | 大東文化大学 山村学園短期大学 | 梶田隆章ノーベル賞記念碑 彫刻プロムナード ピアトリクス・ポター資料館 岩殿観音（日本の数学の額） |
| 第5区間 山間区間 | TJ-29 東松山駅 | 武蔵丘短期大学 | 梶田隆章ノーベル賞記念碑 吉見百穴 埋蔵文化財センター 松山高等学校記念館 |
| | TJ-37 鉢形駅 | | 川の博物館（荒川大模型173） |
| 第6区間 生越線 | TJ-39 寄居駅 | | 名勝玉淀 鉢形城址 鉢形城歴史館 |
| | TJ-42 西大家駅 | 東京国際大学 | |
| | TJ-43 川角駅 | 城西大学 明海大学 日本医療科学大学 | |
| 第7区間 秩父鉄道 | TJ-44 武州長瀬駅 | | 新しき村 武者小路実篤記念館 |
| | 長瀬駅 | | 岩畳と赤壁 |
| | 上長瀬駅 | | 地質学発祥の地碑 自然の博物館 |
| | 秩父駅 | | |

* 駅番号 TJ-〇は、東武東上線と東武生越線の駅番号である。東武東上線は、TJ-1池袋駅から、TJ-39寄居駅までである。東武生越線は、TJ-41一本松駅から、TJ-47生越駅までである。

副駅名について

鉄道では、広告のために、施設名を入れた「副駅名」をもつ駅がある。例えば、東武練馬は、「東武練馬：大東文化大学前」のように大学が副駅名になっている。

大学が副駅名に入っているのは次の5駅である。①東武練馬：大東文化大学前、②ふじみ野：文京学院大学前、③霞ヶ関：東京国際大学前、④高坂：大東文化大学東松山キャンパス前、⑤川角：城西大学前。

内容のインデックス

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 東武東上線で 世界 を感じる | 池袋駅 ときわ台駅 中板橋駅 霞ヶ関駅 高坂駅 高坂駅 | 自由学園明日館 フランク・ロイド・ライト ハワードのガーデンシティ構想 ボローニャ子ども絵本館 ヒューム・コレクション 彫刻プロムナード ガンジー タゴール イギリスの湖水地方 ビアトリクス・ポター |
| 東武東上線で 科学 を感じる | 和光市駅 和光市駅 高坂・東松山駅 高坂駅 東松山駅 鉢形駅 上長瀬駅 | 理化学研究所 ニホニウム通り 梶田隆章ノーベル賞記念碑 岩殿観音 日本の数学の額 吉見百穴の発掘（シーボルト、モース、坪井ら） 川の博物館 地質学発祥の地碑 自然の博物館 |
| 東武東上線で 文学 を感じる | 池袋駅 武州長瀬駅 高坂駅 東松山駅 坂戸・小川町・ 西大家駅 上長瀬駅 | 「池袋ウェストゲートパーク」旧江戸川乱歩邸 武者小路実篤記念館 ねじめ正一 正岡子規句碑（吉見百穴） 万葉集 宮沢賢治歌碑 |

●第1区間 都内区間 池袋駅～成増駅

始発の池袋駅から成増駅まで10駅の区間は、東京都内の豊島区・板橋区・練馬区を通る。この間は各駅停車しか止まらない。

TJ-1 池袋駅

東上線は東と西の概念がメチャクチャである。第1に、「東に上る」線というのに、実際には「西に下る」。東京と上州を結ぶ線だから東上。第2に、池袋駅は、西口なのに東武線があり、東口なのに西武線がある。

池袋西口

東武東上線のある西口から見ていこう。

池袋西口公園（IWGP） ダークな池袋イメージ

池袋西口公園

屋の公園

夜の公園

東京府豊島師範学校発祥の地碑

成蹊学園発祥の地の碑 (元池袋史跡公園)

マビオン地図

東京芸術劇場

IWGP

石田衣良

宮藤官九郎

Amazon

Wikipedia

Amazon

夜の池袋は新宿歌舞伎町と並んで怖いイメージがある。池袋西口のカオスなイメージは、石田衣良の小説『池袋ウエストゲートパーク』シリーズによって世間に広まった。池袋ウエストゲートパーク Ikebukuro West Gate Parkとは池袋西口公園のことで、石田の造語である。この小説の池袋は、最初から大人が眉をひそめる不良の街として描かれる。

池袋西口公園（おれたちはカッコをつけるときはいつも「ウエストゲートパーク IWGP」と呼んでいた）の本当の顔は週末の真夜中。噴水のまわりの円形広場はナンパコロシウムになる。ベンチに女たちが座り、男たちはぐるぐると円を描きながら順番に声をかけていく。話がまとまれば、公園を出ていく。飲み屋も、カラオケも、ラブホテルも、すぐとなりだ。最後のバスが出ていったあとのターミナルには、埼玉からきた族のクルマが列をつくり、のろのろと流しながらスモークグラス越しに女たちを口説いている。ねえ、おれたちとやんない？ 西口公園ではそれぞれのチームに見えない縄張があり、その境界線を武闘派のGボーイズが血の臭いを探すサメみたいにうろついている。公園の角の公衆便所はマーケット。みんな一晩じゅうなにかを売り買いしている。売人が五分置きに便所にはいり、ルーズソックスのコギャルも売人といっしょに男便所に消えていく。・・・土曜日の夜がくるたびにおれたちも熱い湯につかるように一晩じゅう西口公園で時間をつぶした。ナンパすることもされることもあった。ケンカを売ること買いうこともあった。・・・八月の最初の週にあの連続女子高生絞殺未遂事件が起きた。

『池袋ウエストゲートパーク』石田衣良、文藝春秋、2001。

このようにして物語は殺人事件の謎解きに入っていく、ストリートギャング、チーマー、援助交際、覚せい剤、振り込め詐欺団、暴力団などが跋扈するダークな池袋を描いていくことになる。

参考：石田 衣良『IWGPコンプリートガイド 池袋ウエストゲートパークSpecial』文藝春秋、2010。

宮藤官九郎脚本、堤幸彦監督、長瀬智也主演のテレビドラマは、クドカン出世作となった。ドラマはダークよりもコミカルな池袋を強調している（主人公は女性には純情）のだが、アンダーグラウンドな池袋のイメージを世間に定着させたのは、原作よりも、このテレビドラマの方かもしれない。

こうしたダークな池袋西口のイメージは、後述のように、終戦直後のヤミ市に起源がある。

これに加えて、池袋の東口についても、今のサンシャインビルが建つ場所は、戦前は、巢鴨監獄（後に巢

鴨刑務所、東京拘置所) であり、多くの社会運動家が収容された。1945年にはGHQに接収されて「スガモブリズン」と改称され、1948年には極東国際軍事裁判(東京裁判)のA級戦犯7名とBC級戦犯52名の死刑がここで執行された。こうした暗い歴史も池袋のダークなイメージを強めてきた。

ところが、戦争前の池袋西口は、ダークなイメージとは真逆の学園都市であったのである。これは意外に知られていない。

そのヒントとなるのが、地図に示した東京府豊島師範学校発祥の地碑と成蹊学園発祥之地の碑(元池袋史跡公園)である。

池袋西口には多くの大学(ないしその前身)があった



戦前の池袋西口は、多くの大学(ないしその前身)が並ぶ学園都市であった。この地にあったのは、①豊島師範学校(後の東京学芸大学)、②成蹊学校(後の成蹊大学)、③立教大学、④自由学園(後の自由学園最高学部)、⑤学習院(後の学習院大学)である。

左の地図は1916(大正5)年の池袋西口である。

出典:陸軍陸地測量図1万分の1地形図「早稲田」1916(大正5)年

池袋駅の西に①「豊島師範学校」がある。

また、その南に②「成蹊学校」がある。正確には成蹊実務学校であり、後に成蹊大学となった。

西の方には③「立教大学敷地」と書かれている。築地から移転したばかりで、まだ校舎は建っていない。

また、成蹊学校の南側には、後の1921年に④自由学園が創設された(後述のように、自由学園の最高学部は大学と同等である)。

さらに、地図には出ていないが、南には⑤学習院があった。学習院は江戸時代の1847年に京都に作られたが、明治維新で天皇が東京に移ったため、1877年に東京の神田錦町に移動した。1907年に現在の目白駅の近くに移動した。これが戦後の1949年に新制大学の学習院大学として出発した。

現在残るのは立教大学と学習院大学のみ

右の地図は現在のものである。③立教大学と⑤学習院大学は今もあるが、他の学校はすでに移転した。

1946年に移転した豊島師範学校の跡地は池袋西口公園になっている。

1924年に移転した成蹊学校の跡地は、今のホテルメトロポリタンのあたりである。

1934年に移転した自由学園は、建物だけは明日館として残っている。

なぜ学校は郊外に移転したのか?

戦前にこれだけたくさんの学校が集まったのは、鉄道の池袋駅が開業して交通の便がよくなったが、当時の池袋は宅地が少なく、地価が低かったからだろう。

それにもかかわらず、なぜ移転してしまったのだろうか。ヤミ市で治安が悪くなって逃げ出したのかとも思ったが、決してそうではない。豊島師範学校は、空襲で焼け野原となり郊外に移転せざるを得なかったためである。自由学園は、敷地が狭くなったのに地価が上がったので敷地を広げるには郊外に移転するしかなかったためである。成蹊学園は三菱財閥が別荘だった土地を提供してくれたからである。

パリと対等の文化芸術都市 池袋

さらに、戦前の池袋は、大学(前身の学校)が集まっていただけでなく、文化芸術の都市でもあった。戦前の池袋は、「池袋モンパルナス」と呼ばれ、画家や彫刻家などの芸術家が多く集まる街であった。また、近くには「長崎アトリエ村」や「桜ヶ丘パルテノン」などの芸術家村もあり、集まった芸術家たちは、池袋

をパリやアテネと対等なものとして見ていた。

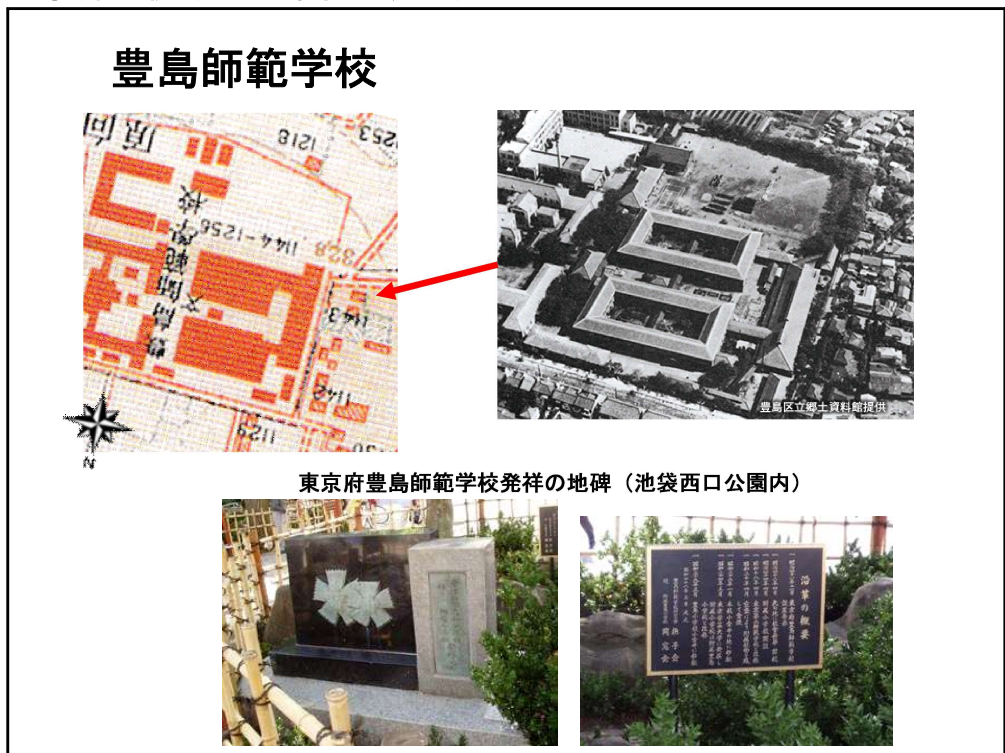
空襲と池袋ヤミ市

こうした池袋の学園や文化芸術を破壊したのはアメリカ軍の空襲であった。池袋は焦土と化し、学園の建物は焼けてしまった。その焼け跡にバラック建ての露天が作られ、統制対象の商品をヤミ取引で売る「ヤミ市」ができた。戦後復興の活力を象徴する「ヤミ市」であるが、その裏で犯罪と結びつくアンダーグラウンドな池袋が作られた。戦後の復興で大型商業施設が作られ、「ヤミ市」はなくなり、跡地には東京芸術劇場が作られたりしたものの、そのカオスの世界は現在の『池袋ウエストゲートパーク』の時代まで続いているのである。

ちなみに、三井住友トラスト不動産のホームページでは、池袋の波瀾万丈の歴史を以下の9つの時期に分けて解説している。

- 1: 武蔵野の自然に恵まれた地
- 2: 鉄道の開通、交通の要衝へ
- 3: 「豊島師範」と私学の興隆
- 4: 戦前における池袋の都市化
- 5: 文化・芸術の拠点として
- 6: 高級住宅地になった目白・落合
- 7: ヤミ市から始まった戦後復興
- 8: 「副都心」池袋へ
- 9: 「サンシャインシティ」誕生

豊島師範学校（のちの東京学芸大学）



東京府豊島師範学校は1908（明治41）年に開校した。初等・中等教育の教員を養成する学校である。右上の写真は当時のものであるが、「口」の字型の中庭のある校舎がふたつ建っている。左上の地図との対応がつく。

1943年には、「東京第二師範学校」と改称した。1945（昭和20）年に空襲により全焼したために、1946年に小金井に移転した。1949年には東京学芸大学となった。

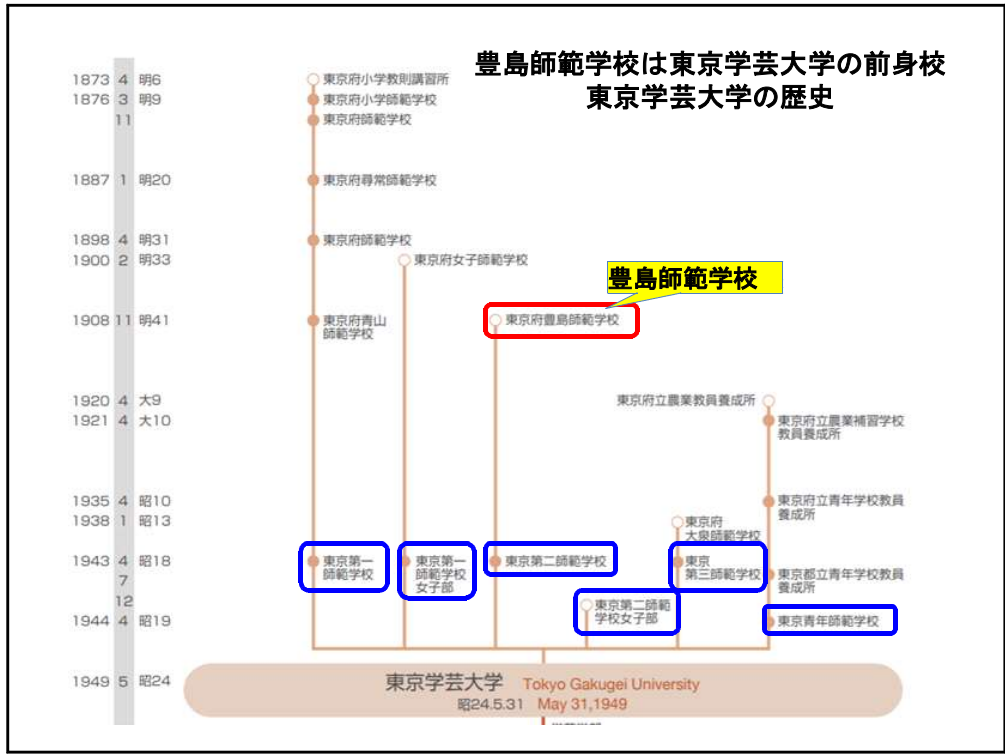
師範学校の跡地

師範学校の跡地は鉄道研修所として使われたが、周りはヤミ市となった。1970年に整備されて池袋西口公園となった。その後も再開発が続き、1990年に附属豊島小学校の跡地に「東京芸術劇場」が作られた。

東京府豊島師範学校発祥の地碑

池袋西口公園の中に「東京府豊島師範学校発祥之地」の石碑がたっている。両校の校章が刻まれた白と黒の石碑も並んでいる。

豊島師範学校は東京学芸大学の前身

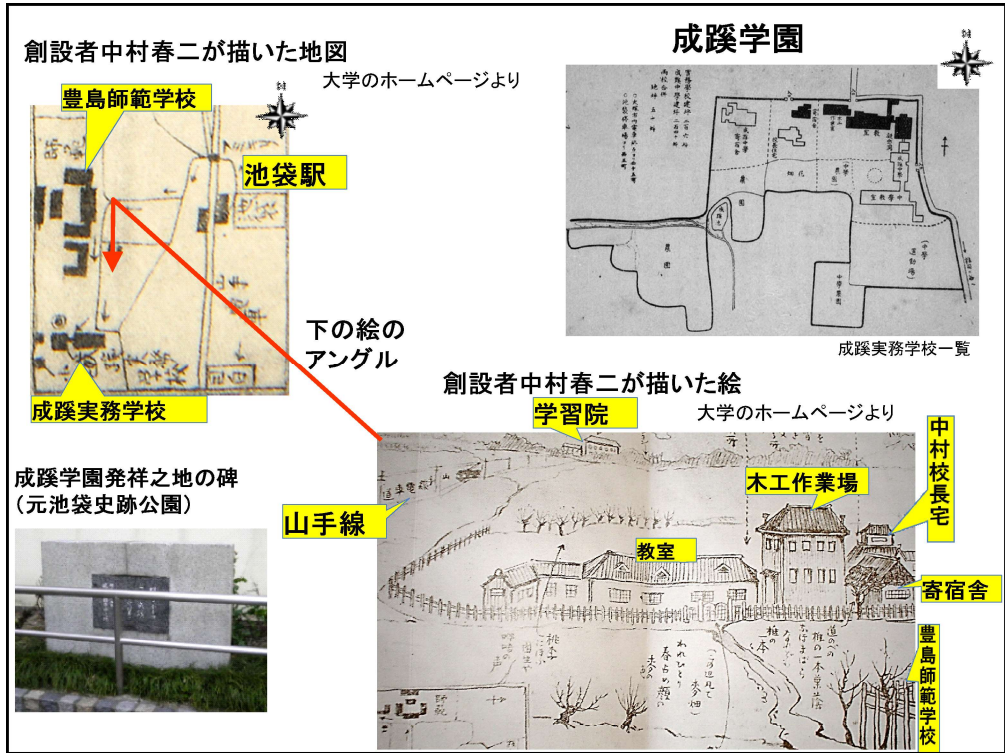


豊島師範学校はのちに東京学芸大学に吸収された。東京学芸大学は、1949年に、いくつかの師範学校が統合されてできたものである。

図に示すように、①東京第一師範学校（青山師範学校）、②東京第一師範学校女子部、③東京第二師範学校（豊島師範学校）、④東京第二師範学校女子部、⑤東京第三師範学校（大泉師範学校）、⑥東京青年師範学校が合併したのである。

出典：東京学芸大学大学史テキスト <https://www.u-gakugei.ac.jp/shiryoshitsu/pdf/symposium2017.pdf>

成蹊学園（のちの成蹊大学）



成蹊学園は、1906（明治39）年、教育者の中村春二が本郷に私塾「成蹊園」を開いたのが始まりである。成蹊とは、司馬遷の『史記』にある「桃李不言 下自成蹊」からとったものである。桃や李は人徳のある人のたとえで、優れた人格を備えた人のまわりには、その人を慕って自然と人が集まってくる、という意味である。

1912年に、成蹊実務学校を池袋に開校した。その後、中村は、岩崎小弥太（岩崎弥太郎の甥で、後に三菱財閥総帥となる）らの協力で、中学校・小学校・女学校・実業専門学校などを作り、これらをまとめて財団法人成蹊学園を設立した。

成蹊実業学校の位置

創設者中村春二が描いた成蹊実務学校の地図と絵が残っており、成蹊大学のホームページに出ている。

左上の手書きの地図は、中村春二が描いたものである。池袋駅の西に豊島師範学校があり、その南側に成蹊実務学校が描かれている。

敷地

右上の図は、国立国会図書館デジタルコレクションにある「成蹊実務学校一覧」に掲載された敷地図である。北側に入り口がある。その前に教室がある。その東側は「疑念洞」と書かれており、ここは疑念法という座禅あるいは瞑想を行う場とのこと。教室の西は「木工作業場」である。その西に「寄宿舍」がある。生徒はそこで生活していたようだ。その南に「校長住宅」がある。中村春二は学校の敷地内に住んでいたことがわかる。その南には「農園」や「花畑」がある。「成蹊池」という池もあった。

中村校長が描いた校舎の絵

右下の大きな絵は、中村が描いた学校の絵であり、解説文がついている。当時の様子がわかる貴重な絵である。下に「45年2月」と書かれていることから、明治45（1912）年2月に描かれたものだろう。

正面にある平屋が前述の「疑念洞」と「教室」。右の2階建ての建物が「木工作業場」である。

右下に師範学校の木柵が小さく見えている。師範学校から成蹊実務学校の入り口までの道は、クネクネ曲がっていて、まるで小川のように見える。道もデコボコしている。

このことから、左上の地図に示すように、北から南を見たアングルで描いたことがわかる。

右端の手前の建物が「寄宿舍」であり、その奥が「小宅」と書かれた中村校長自宅である。

校舎の周りには、低い木の柵が廻らされている。校庭の向こう側には桑？の木が14本植えられている。そういえば、前景にも桑？の木が2本見える。

絵の左上には山手線の電車道も描かれている。

池袋から学習院も見えた

この絵の遠景には、「学習院」と書かれた建物が見える。目白にある学習院が、当時は池袋からよく見えたのである。成蹊実務学校と学習院までの間には何も描かれていない。確かに前掲の1916年の地図を見ても、成蹊実務学校の南には家は建っていない。つまり、池袋駅と目白駅の間（直線距離にして1キロメートル以上）は、当時は空地か田んぼだったようだ。

学習院の両側には、林が広がっている。当時の東京はまだ武蔵野の林が多く残っていた。

この絵は、当時の池袋ののどかな環境まで伝わる貴重なものである。

吉祥寺への移転

成蹊学園は、1924年に吉祥寺に移転したが、そこは岩崎家の別荘のあった8万坪の土地で、岩崎小弥太から提供されたというから驚く。成蹊学園には、三菱財閥という巨大スポンサーがついていて、運営費用の大部分は三菱からの寄付でまかなわれていたという。

成蹊高等学校（旧制）から成蹊大学へ

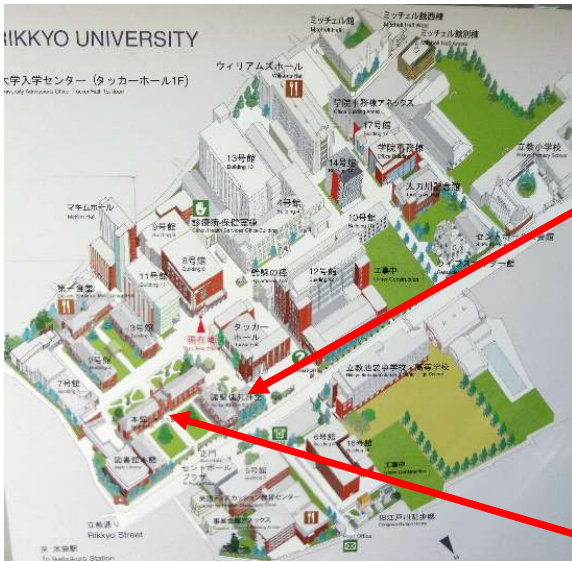
1925年、旧制高等学校である成蹊高等学校を開設し、戦後1949年に新制大学の成蹊大学として出発した。

ちなみに、『池袋ウエストゲートパーク』の作者石田衣良は成蹊大学の出身である。ひれまでの文脈からするとちょっと意外。

成蹊学園発祥之地の碑

池袋駅西口のホテルメトロポリタンの向かい側には「元池袋史跡公園」があり、「池袋」という名前の由来となった池がある。前述のように、この公園に「成蹊学園発祥之地」の碑が建てられている。

立教大学



礼拝堂(チャペル)



1号館



大学のホームページより

池袋駅西口から立教大学までは歩いて10分ほどである。

立教大学の歴史は、アメリカ聖公会の宣教師ウィリアムズ主教が1874（明治7）年に設立した私塾「立教学校」にさかのぼる。場所は築地の外国人居留地にあった。1883年には立教大学校（St. Paul's College）となり、1907年には専門学校令により立教大学となった。1918年に築地から池袋に移った。1922年に大学令による大学として認可された。1920年代から野球の「東京六大学」のひとつとなった。1949年に新制大学として認可された。

立教大学のキャンパスは、池袋キャンパスと新座キャンパス（後述）がある。池袋キャンパスには、大学本部が置かれており、文学部、異文化コミュニケーション学部、経済学部、経営学部、理学部、社会学部、法学部がある。

立教大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.rikkyo.ac.jp/>

池袋キャンパスの住所は、〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

立教大学 旧江戸川乱歩邸

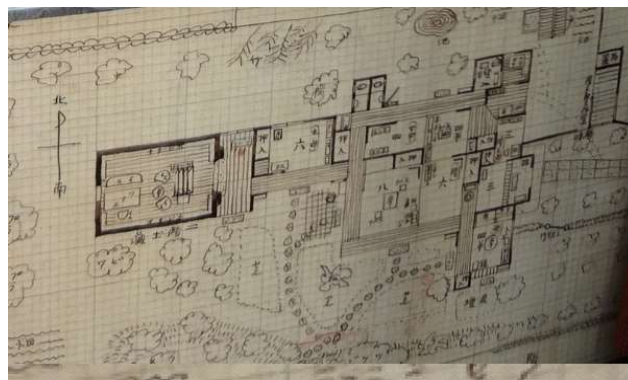
立教大学 旧江戸川乱歩邸



江戸川乱歩



Wikipedia



立教大学の隣の敷地に、旧江戸川乱歩邸がある。

作家の江戸川乱歩（1894～1965年）は、1923年に雑誌「新青年」に掲載した『二銭銅貨』でデビューし、

日本に推理小説を定着させた。1947年は探偵作家クラブを作り、その初代理事長となった（後の日本推理作家協会）。

乱歩は、1934年からこの立教大学に隣接する住宅に住み、1965年に70歳で亡くなるまで住み続けた。2002年、この土蔵・住宅と計4万点近くの蔵書等が立教大学に譲渡され、2006年に江戸川乱歩記念大衆文化研究センターが設立された。水・金曜日は一般に公開されている。

ちなみに、個人的趣味でいえば、乱歩の最高傑作は『孤島の鬼』。

自由学園（大学としての自由学園）

自由学園 明日館



Googleマップ



羽仁もと子
作品全集
Amazon

婦人の友社



自由学園(東久留米市)のキャンパス



自由学園のホームページより

池袋駅西口から歩いて7分のところに、自由学園の明日館（みょうにちかん）がある。

自由学園は、羽仁もと子と羽仁吉一の夫婦によって1921年に設立された学校である。

羽仁もと子（1873～1957年）は、青森県に生まれ、上京して府立第一高女学校で学んだ。郷里で教職について結婚したが離婚し、再び上京して報知社（現・報知新聞社）に入社した。その後、記者に登用されて、日本で初めての女性ジャーナリストとなった。同社の羽仁吉一と結婚した。1903年に女性雑誌「家庭之友」を創刊した（後に「婦人の友」と改名）。1921年に、女学校として自由学園を池袋に設立した。キリスト教精神に基づいた理想教育を実践するためであった。1934年に、自由学園は東京都東久留米市に移転し、現在に至る。

羽仁夫妻が設立した婦人之友社の社屋は1963年に建てられた（写真）。

大学としての自由学園 最高学部

自由学園は、東久留米市の南沢キャンパスに本部があり、文部科学省の学習指導要領にとらわれない独自の教育方法をとっている。初代理事長は羽仁吉一（学園主）、第2代理事長は天野貞祐（第一高等学校校長や文部大臣をつとめた哲学者）がつとめており、教育理念に賛同する知識人も多い。

学校法人 自由学園は、小学校・中学校・高等学校・最高学部（大学部）を持っている。

最高学部は、大学に相当するが、文部科学省の一条校認可を受けていないので、学校教育法第135条による各種学校の扱いとなる。進学は、自由学園高等科からのみであり、外部生は受け入れていない。大学としてリベラル・アーツ教育をおこなっている。

自由学園のオフィシャルサイトは、 <https://www.jiyu.ac.jp/>

自由学園の住所は、〒203-8521 東京都東久留米市学園町 1-8-15

自由学園 明日館 フランク・ロイド・ライト設計

ライト 遠藤新



Wikipedia



内部から

明日館は、1921年に自由学園の校舎として建てられた。学校施設として見逃せない名建築である。

この建物の設計者は、アメリカの建築家フランク・ロイド・ライト（Frank Lloyd Wright、1867～1959年）である。ライトの作品の多くは世界遺産に登録されている。当時、ライトは帝国ホテル新館の設計のために日本を訪問していた（帝国ホテルの建物は愛知県犬山市の明治村に移築されている）。その時に、ライトの助手をしていた建築家の遠藤新の紹介で、羽仁夫妻はライトに自由学園の設計を依頼した。夫妻の教育方針を聞いてライトは深く共鳴し、設計を引き受けた。こうして世界的建築家の建物が池袋に作られることになった。

プレーリースタイルの建築

明日館の建物は、池袋の喧噪とは別世界の雰囲気があり、空襲にも会わずに生き残ったことは奇跡である。

写真に示すように、正面にある6本の柱と三角形の屋根が印象的である。こうしたスタイルは、ライトの特徴であるプレーリースタイル（草原住宅）の典型とされる。建物の一部は遠藤新が設計した。また、明日館の向かいに建てられている講堂も遠藤新の設計である。講堂のとなりに婦人の友社がある。

明日館は、自由学園が東久留米に移ってから、卒業生の活動の拠点として使われてきたが、老朽化が進んだため、補修工事がおこなわれ、2001年にオープンした。現在は結婚式なコンサートなど一般に貸し出されている。

明日館の内部公開

明日館の内部は一般公開されている。正面の6本の柱を内部から見ると、ちょうど五角形の窓になっていて美しい（写真）。また、木製の照明や六角形の椅子などのインテリアもユニークである。自由学園の歴史の展示もある。内部見学はオススメである。

明日館のオフィシャルサイトは、<https://www.jiyu.jp/>

住所は、〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-31-3

池袋駅東口

続いて西武池袋線のある東口をみてみよう。

帝京平成大学 池袋キャンパス

帝京平成大学 池袋キャンパス





Googleマップ ホテルの内部のような作り




池袋駅の東口から歩いて12分のところに帝京平成大学の池袋キャンパスがある。
この大学は、1987年に帝京技術科学大学として開学し、1995年に帝京平成大学に名称変更された。
池袋キャンパスのほかに、中野キャンパス、千葉キャンパス、ちはら台キャンパスがある。この池袋キャンパスには、大学本部が置かれており、ヒューマンケア学部と健康メディカル学部がある。
このキャンパスの健康メディカル学部には臨床心理学科があり、以前に学会が開かれて、中に入る機会があった。入口のロビーはホテルのような豪華な作りだった。
大学のオフィシャルサイトは、<https://www.thu.ac.jp/>
住所は、〒170-8445 東京都豊島区東池袋2-51-4

東京福祉大学

東京福祉大学



大学のホームページより



池袋駅の東口から歩くと東京福祉大学の池袋キャンパスがある。
東京福祉大学は2000年に群馬県伊勢崎市に開学した。この池袋キャンパスは2008年に開設された。

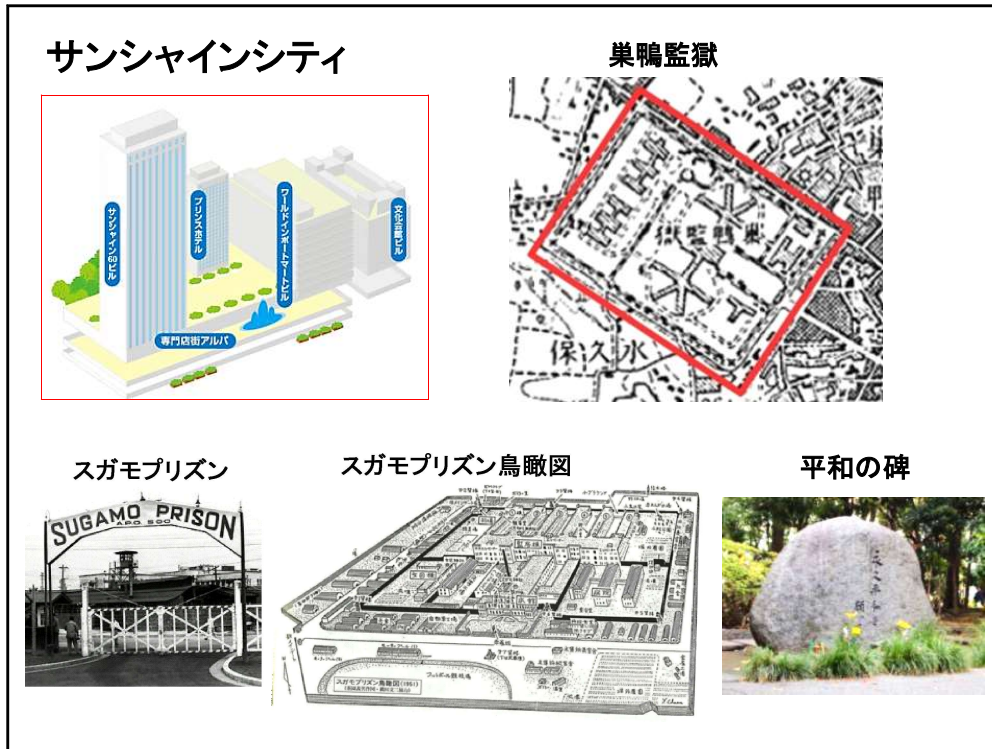
池袋キャンパスのほかに、本部のある伊勢崎キャンパス（群馬県伊勢崎市）、王子キャンパス（東京都北区）、名古屋キャンパスの4つがある。

池袋キャンパスには、保育児童学部、社会福祉学部、教育学部が置かれている。

池袋キャンパスは、南池袋・東池袋地区に校舎が点在している。学生は校舎間を移動しながら、授業を受ける。

大学のオフィシャルサイトは、 <http://www.tokyo-fukushi.ac.jp/>

サンシャインシティ



池袋東口にはサンシャインシティがある。東口を出て、サンシャイン60通りを進むと、お笑い劇場ラスト池袋が客引きをしている。東急ハンズの横のエスカレーターで地下に降りて、首都高速を越え、サンシャインシティに向かう。

私も家族サービスで娘たちを連れてサンシャイン水族館やナンジャタウンに通ったし、パスポートの更新ではビルのパスポートセンターに通い、定年退職した時は、コロナ禍にもかかわらず、ビル内のハローワークに行った。このように今や市民の日常生活に溶けこんでいる場所だが、とはいえ、この場所の歴史はそれほど明るいわけではない。

| | |
|-------|---|
| 1895年 | 「石川島徒場」がここに移転し、警視庁監獄巣鴨支署となる 石川島徒場とは、江戸時代、松平定信の寛政改革によって1790年に江戸の石川島に置かれた浮浪人収容所であり、実現に尽力したのは長谷川平蔵（池波正太郎の『鬼平犯科帳』のモデル）である。 1897年巣鴨監獄と改称される 右上の地図のように、建物は放射状に並ぶ典型的なパノプティコン（全展望監視システム）の構造。 |
| 1922年 | 巣鴨刑務所と改称 巣鴨刑務所は、1935年に府中に移転した |
| 1937年 | 跡地に東京拘置所が設置された 戦前の東京拘置所に収容されたのは延べ数千人とされ、大杉栄、山川均、美濃部亮吉、宮本顕治といった社会運動家がここで拘置所生活を送った。1944年にはゾルゲ事件のゾルゲと尾崎秀実の死刑がここで執行された |
| 1945年 | GHQに接収されて「スガモプリズン」と改称された 1948年に極東国際軍事裁判（東京裁判）のA級戦犯7名とBC級戦犯52名に対する死刑がここで執行された |
| 1952年 | 日本に移管されて、巣鴨刑務所の名前に戻った |
| 1958年 | 再び東京拘置所に戻った |
| 1971年 | 東京拘置所は小菅に移転し、建物は解体された |
| 1978年 | 跡地にサンシャイン60のビルが建てられた 東池袋中央公園に「平和の碑」が建てられた |

なお、池袋駅の近くには、大正大学や東京音楽大学があるが、これらはJR山手線の大塚駅や目白駅のほうが近い。

TJ-2 北池袋駅
東京交通短期大学



北池袋駅から南に10分ほど歩くと東京交通短期大学がある。
 学校法人豊昭学園が経営する3つの学校（東京交通短期大学、昭和鉄道高等学校、豊島学院高等学校）が並んでいる。

東京交通短期大学は、1952年に設置された日本で唯一鉄道・交通に関する専門教育を行う高等教育機関である。運輸科のみが設置されているが、これは日本で唯一の学科という。カリキュラムをみると、授業で鉄道運転シミュレーターなどが体験できる。

建物がスタイリッシュで驚く。前の道路が狭いので、ビル全景が撮りにくいですが、近くのお寺の境内から見ると、その全景がわかる。

大学のオフィシャルサイトは、<http://toko.hosho.ac.jp/>
 住所は、〒170-0011 東京都豊島区池袋本町2-5-15

昭和鉄道高等学校 池袋の真ん中にこんなところがあるなんて



東京交通短大のとなりの昭和鉄道高等学校は、建物がスタイリッシュでいかにも楽しい。
 また、驚くのは、屋外に機関車と地下鉄車両が飾ってあることである。文化祭などで公開されるという。

- ①機関車。西武鉄道3号機関車。1967年に西武鉄道から寄贈されたもの。
- ②地下鉄車両。地下鉄丸ノ内線モハ500形。1994年に帝都高速度交通営団から寄贈されたもの。

それぞれ説明板がついている。この高校がどんな教育なのか一目でわかって面白い。童心に戻ってすなおに楽しい。池袋の真ん中にこんなところがあるなんて。

TJ-3 下板橋駅

下板橋駅は、「板橋」とついているが、板橋区ではなく、豊島区にある。東武東上線の中板橋駅と上板橋駅は、その名の通り板橋区にあるのに。

TJ-4 大山駅

日本大学医学部・附属板橋病院



大山駅を出て、ハッピーロードを南に行く。20分ほど歩くと、日本大学医学部・附属板橋病院がある。中板橋駅からも歩いて20分であるが、中板橋駅からの道のりはやや複雑である。

正門を入ると、バス乗り場があり、正面が大学院棟の建物で、その奥に医学部本館がある。入口の右手に附属板橋病院の入口がある。正門の通りには、門前町のように薬局が並ぶ。私も昔この病院で診てもらったことがある。

日本大学医学部は、1925年に日本大学専門部医学科として駿河台に開設され、1942年に旧制大学の医学部となり、戦後、新制大学の医学部となった。

日本大学医学部は2つの大きな附属病院を持っている。この医学部附属板橋病院と、神田駿河台にある日本大学病院である。以前は、練馬光が丘病院もそうだったが、今は経営から手を引いている（後述）。

日本大学医学部のオフィシャルサイトは、 <https://www.med.nihon-u.ac.jp/>

附属板橋病院のオフィシャルサイトは、 <http://www.med.nihon-u.ac.jp/hospital/itabashi/>

住所は、〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1

TJ-5 中板橋駅

いたばしボローニャ子ども絵本館

いたばしボローニャ子ども絵本館



Google マップ



『イタリア・アカデミックな歩き方
都市をめぐる教養散策』
丹野義彦、有斐閣、2015



知的な旅のススメ
東大教授とめぐる教養のイタリア



中板橋駅から東に18分ほど歩くと、いたばしボローニャ子ども絵本館がある。

イタリアのボローニャ市では、毎年、児童書専門の見本市「ボローニャ児童図書展」が開かれる。1981年に板橋区立美術館で「ボローニャ国際絵本原画展」を開いたことがきっかけとなり、1993年からボローニャ児童図書展から海外の絵本が寄贈されるようになり、2004年にこれらの海外絵本を手にとって見られる絵本館が作られた。世界約100か国、2万8千冊、70言語の絵本を所蔵している珍しい図書館である。

私は『イタリア・アカデミックな歩き方 都市をめぐる教養散策』（丹野義彦、有斐閣刊、2015年）で、ローマ、フィレンツェ、ヴェネツィア、ミラノなどイタリアの9つの都市の大学散歩を試みた。

http://tannoy.sakura.ne.jp/italia_academic_tour.pdf

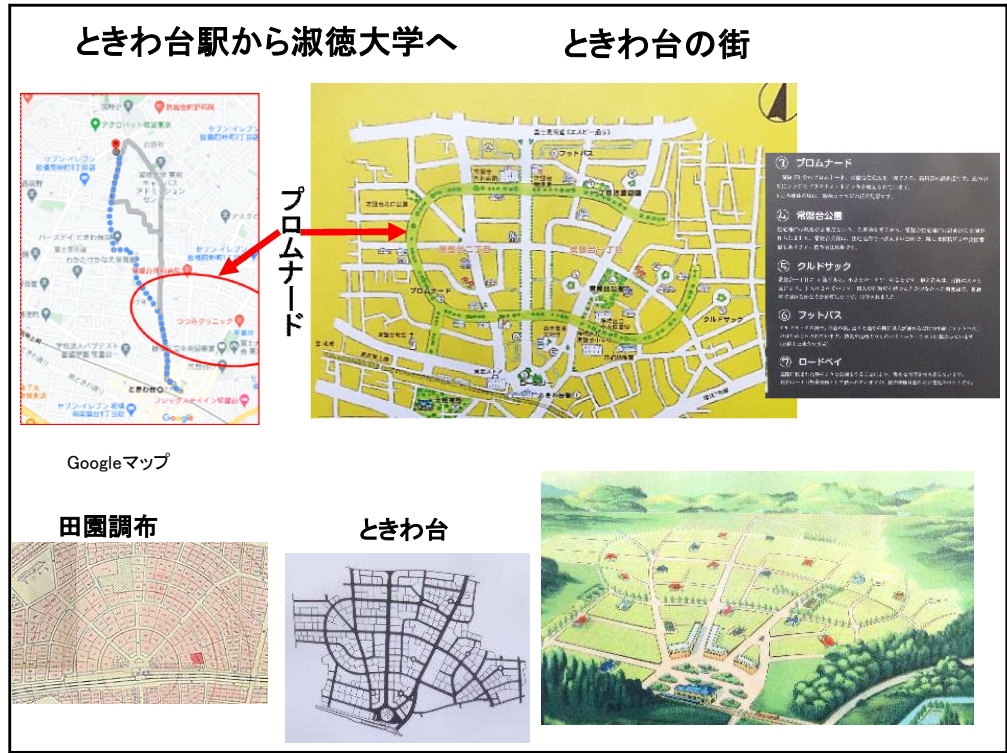
ボローニャは大学発祥の地ともいえる都市であり、この本でも取りあげた。ボローニャの図書見本市は有名であり、その本を手にとって見られるというので、この絵本館を取材したことがある。

絵本館のオフィシャルサイトは、<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/bologna/index.html>

住所は、〒173-0001 東京都板橋区本町24番1号

なお、絵本館の先には、帝京大学、帝京大学附属病院、日本成徳大学があるが、これらはJR赤羽線の十条駅のほうが近い。

TJ-6 ときわ台駅
ときわ台駅から淑徳大学へ



ときわ台駅から北に淑徳大学をめざして歩く。

ときわ台は、自然発生的にできたのではなく、計画的に作られた街である。1935年に東武鉄道が「田園都市」構想に基づいてこの町を設計した。田園都市 Garden Cityとは、イギリスのハワード (Ebenezer Howard, 1850～1928年) が提唱したもので、職住近接型の緑豊かな街を作ろうという都市構想である。日本にも多く取り入れられ、有名なのは、渋沢栄一によって作られた田園調布の街 (大田区) である。ときわ台もそのひとつである。今から85年前に作られた当時は、右下の絵のように、周りは田んぼや野原だったのだろう。

楕円形のプロムナード モダンな都市計画の仕掛いろいろ

田園調布は、駅を中心に、放射状と同心円状の道路で作られているのに対し、ときわ台は、左下の写真 (駅前に展示してあるもの) のように、駅からの放射状の道路はあるが、同心円状の道路はない。同心円のかわりに、楕円形の道 (プロムナード) が作られているのが特徴である。この楕円状のプロムナードは、1周8キロメートル (歩いて20分) で、道の真ん中にプラタナスの並木があるしゃれた散歩道となっている。この他にも、クルドサック (袋小路状のロータリー) や、ロードベイ (道路にはさまれた島状の公園) など、モダンな仕掛がたくさんある。

淑徳大学への道は、このプロムナードの中を突っ切って行く。せっかくなので、この街のいろいろな仕掛けを見て歩くのも面白い。

淑徳大学

淑徳大学



大学のホームページより



ときわ台駅から北に10分ほど歩くと、淑徳大学の東京キャンパスがある。

淑徳大学は、1965年に千葉キャンパスに設置された。

淑徳大学には4つのキャンパスがある。①東京キャンパスのほかに、②本部のある千葉キャンパス（ここに実践心理学科がある）、③千葉第2キャンパス、④埼玉キャンパスである。

この東京キャンパスには、人文学部と短期大学部が置かれている。

学校法人大乗淑徳学園が運営しており、大学、短期大学部のほかに、近くに高等学校、中学校、小学校もある。

大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.shukutoku.ac.jp/>

東京キャンパスの住所は、〒174-0063 東京都板橋区前野町2丁目29-3

マハヤナ学園 淑徳大学の姉妹学園

マハヤナ学園



北前野小学校あいキッズ



急な崖

マハヤナ第二保育園



急な崖

マハヤナ学園 撫子園



マハヤナ学園は、1919年に大乘淑徳学園の創立者長谷川良信によって創立された社会福祉法人である。マハヤナとは「大乘」の意味である。淑徳大学とは、創立者を同じくする姉妹学園にあたる。

隣りにあるマハヤナ学園の撫子園は、児童福祉法による児童養護施設であり、保護者のいない児童（あるいは虐待されている児童）を、児童相談所と連携して養護し自立を支援している。

また、マハヤナ第二保育園も運営している。さらに、児童福祉法にもとづく板橋区の放課後対策「あいキッズ」事業に協力し、北前野小学校で活動をおこなっている。マハヤナ第二保育園は崖の上であり、向かいの北前野小学校は谷底にあり、かなりの高低差がある。

ときわ台北側の複雑な地池

このあたりの地形は複雑で面白い。ときわ台のプロムナードや淑徳大学の1～6号館のあたりは平坦な台地である。しかし、前野公園から深い谷が始まり、北のほうに伸びていく。淑徳大学の7号館と8号館（図書館）はその斜面に建てられている。谷は続き、マハヤナ第二保育園は崖の上であり、向かいの北前野小学校は谷底にあるので、高低差ができるのである。谷は高島平のほうへと続いていく。この谷は、出井川の支流によって浸食されてできたのであるが、出井川は今は暗渠になっている。川の浸食作用の強さを足で感じることができる。このあたりは複雑な凸凹地形である。もし水面が上がったとしたならば、リアス式海岸になるだろう。こうした凹凸地形を見て歩く時のガイドブックが『板橋マニア』（フリックスタジオ刊）という本である。

TJ-8 東武練馬駅

練馬と名前がついているが、練馬区ではなく、板橋区にある。この駅ができた時は練馬町にあったからだが、1932年に板橋区となった。東武東上線が練馬区を通るのは、たった100メートルくらいだけである。

東武練馬駅から大東文化大学へ

東武練馬駅から大東文化大学へ

大東文化大学

25分
2km

大東文化会館

東武練馬駅

安藤広重浮世絵美術館

Googleマップ

東武練馬駅の副駅名は「大東文化大学前」である。東武練馬駅から北へ歩いて、大東文化大学をめざす。東武練馬駅前に大東文化会館があり、この駅から大東文化大学へのスクールバスが走っている。近くに安藤広重浮世絵美術館がある（入ったことはない）。

東武練馬駅から大東文化大学への地形

東武練馬駅から大東文化大学への地形

大東文化大学 ↑

出典 「板橋マニア」フリックスタジオ

コロッセオの谷

V字型の谷をまたぐ東武練馬駅ホーム

この駅は、下がざっくりと深いV字谷に削られて、ホームからの見晴らしがよい。V字谷は、前谷津川の支流によって削られたものである（川は暗渠となっていて見えない）。この谷に沿って、「不動通り」が南北に通る。中尾不動尊があるのでこの名がついた。通りの東側には、3つの小さな谷があり、ひとつは「コロッセオの谷」と呼ばれる。コロッセオのようなスリバチ状になっている。

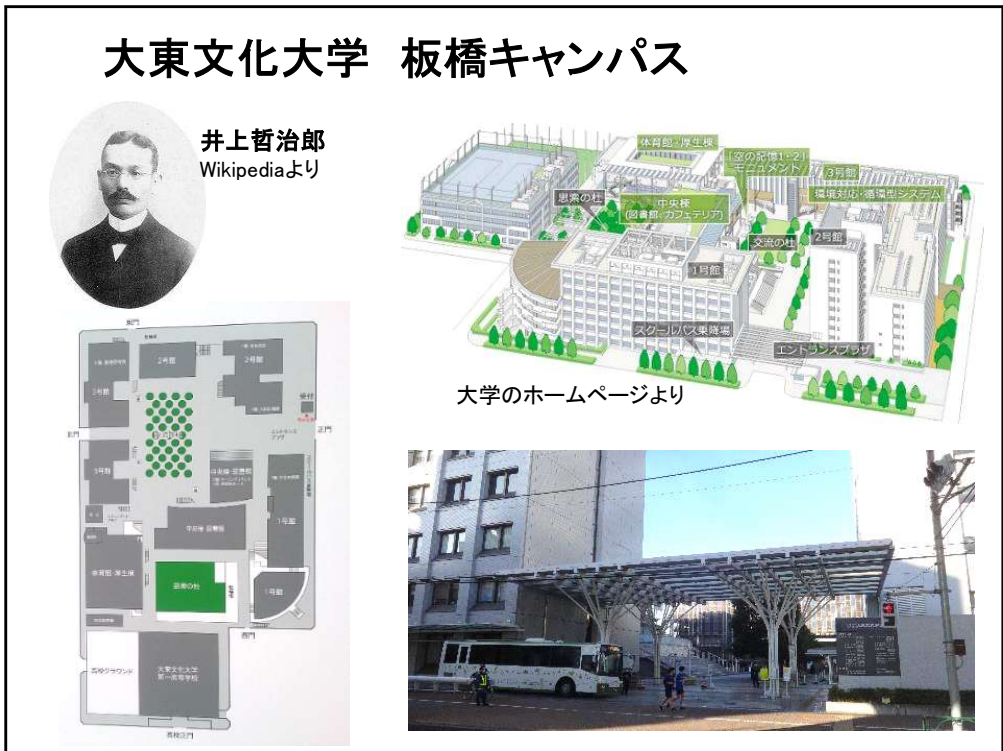
東武東上線の北側は、高島平と降りていく複雑な地形が作られていて面白い。

このあたりの地形を見て歩く時に役に立つのが、前述の『板橋マニア』（フリックスタジオ刊）という本

である。

東武練馬駅から、不動通りを北へと大東文化大学へのスクールバスが走っており、北へ1.5キロのところ到大東文化大学の板橋キャンパスがある。

大東文化大学 板橋キャンパス



東武練馬駅から歩いて25分ほどで、大東文化大学の板橋キャンパスに着く。なお、地下鉄都営三田線の西台駅からは歩いて10分ほどである。

大東文化大学の歴史は、1923年の大東文化学院にはじまる。その初代総長は政治家の平沼騏一郎（1939年に総理大臣）、第二代総長は哲学者の井上哲次郎（東京帝国大学文科大学学長、写真）であった。1949年に、新制大学として東京文政大学の名称で出発し、1953年大東文化大学と名称変更した。

キャンパスは、本部のある①板橋キャンパスと、②東松山キャンパス（後述）がある。板橋キャンパスには、文学部、外国語学部、経済学部、経営学部、法学部、環境創造学部がある。敷地の西側には、大東文化大学第一高等学校がある。

なお、不動通りには、大東文化歴史資料館展示室（一般公開）がある。

大東文化大学のオフィシャルサイトは、<https://www.daito.ac.jp/>

板橋キャンパスの住所は、〒175-8571 東京都板橋区高島平1丁目9番1号

TJ-9 下赤塚駅 地下鉄赤塚駅（有楽町線Y3・副都心線F03）

赤塚大仏、松月院、赤塚城址、板橋区立美術館などがある。

TJ-10 成増駅

地下鉄成増駅（有楽町線 Y 2・副都心線 F 0 2）

光が丘公園 戦前は軍用飛行場、戦後は米軍住宅、今は自然の保存地



成増駅から南に歩いて10分ほどで光が丘公園に着く。広い公園で、いろいろな施設がある。とくに自然の保存に力をいれている。

バードサンクチュアリでは、2.4ヘクタールの区域が閉鎖されており、野鳥などの生物が自然のままになっている。中には、池、浜、樹林、草地などが配置されている。生き物の様子は観察舎から見ることができる。

ほかにも、屋敷森跡地、はんの木緑地と水生昆虫誘致池、昆虫原っぱ、自然観察ゾーン、自然保全ゾーン、貯留池などがある。

屋敷森跡地



光が丘公園内には、「屋敷森跡地」がある。私もこの公園には何十回と行ったのだが、この記事を書くまで知らなかった。「屋敷森」とは、約300年前からある農家の屋敷森が保存されているものである。後述のように、成増飛行場、アメリカ軍のグラントハイツ、グラントハイツ返還と3回の危機があったが、この森はかろうじて乗り越えて、生き残ってきた。ボランティアの「屋敷森の会」が保存している。

敷地は鉄柵で囲われているが、日中は自由に中を見学できる。敷地内は、遊歩道が作られている。地図には「屋敷跡」「納屋跡」とあるが、建物は無い。また、「御稻荷様跡」「御大師様跡」とあるが、草の中に隠れている。井戸はかろうじて残っている。

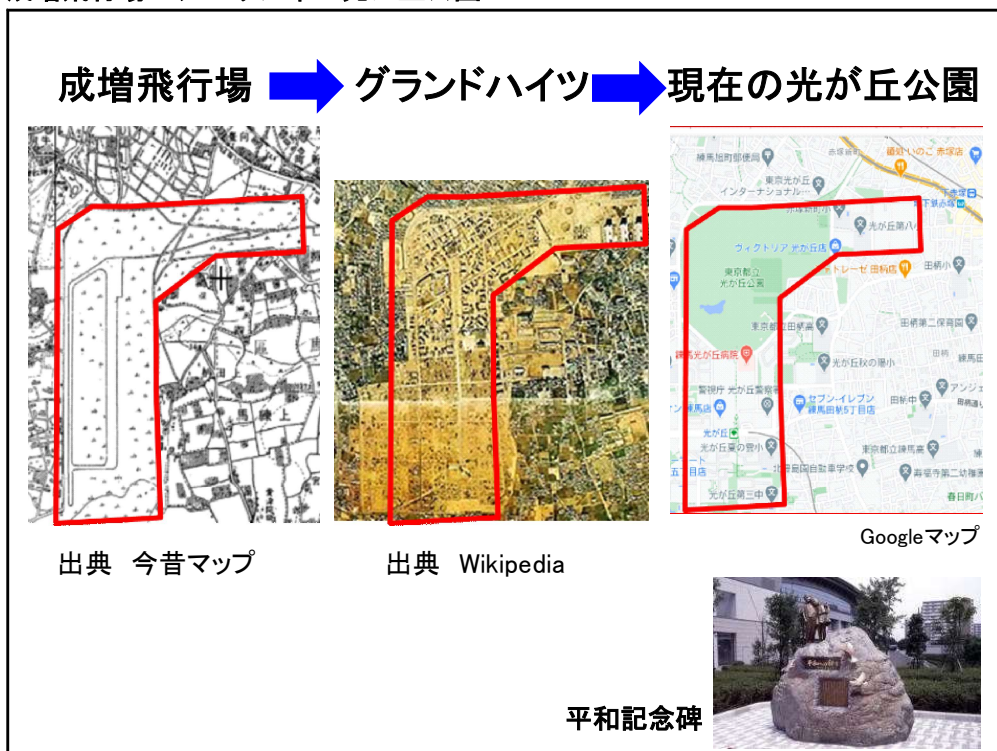
はんの木緑地と水生昆虫誘致池



光が丘公園の北西には、ヒゲのように飛び出た部分がある。ここに、はんの木緑地（練馬区立旭町はんの木緑地）という小さな公園がある。昔は谷地（谷あいの湿地帯）だったところで、植物や昆虫がたくさんいたが、町の発展により谷地が小さくなったので、保護するために作られた。

また、このヒゲのように飛び出た部分には、「とんぼ池」という水生昆虫誘致池がいくつか作られている。これらもこの記事を書くまで知らなかった。

成増飛行場→アメリカ軍→光が丘公園



光が丘公園は、太平洋戦争中には成増飛行場であった。1943年に建設され、日本陸軍の戦隊が配備された。終戦間際には、神風特攻隊の出撃基地になったりした。

終戦後は、この土地はアメリカに接収され、米軍の家族住宅「グラントハイツ」として利用された。1973年に、グラントハイツは日本に返還され、1981年、敷地の3分の1が光が丘公園となった。

こうした戦争の過去を反省して、公園内の図書館と体育館の間に、「平和記念碑」が作られている。

●第2区間 メイン区間 和光市駅～川越駅

東武東上線は和光市駅から埼玉県に入る。和光市駅から川越駅までの11駅の間は、東武東上線で最も乗降客の多いメイン区間である。和光市・朝霞市・志木市・富士見市・上福岡市・川越市を通る。

川越市は、埼玉県で第3位の人口をもつ中核都市で、川越駅は東武東上線・JR川越線・西武新宿線が集まる接続駅である。江戸時代から主要な交通路で、川越と江戸の間には川越街道と新河岸川が並行して走っていた。

TJ-11 和光市駅

有楽町線 Y 1 ・副都心線 F O 1

和光市駅は、地下鉄有楽町線と地下鉄副都心線が相互乗り入れしている。

理化学研究所



和光市駅から16分ほど南に歩くと、理化学研究所（理研）がある。理研は、物理学、工学、化学、数理・情報科学、計算科学、生物学、医科学など幅広い分野で研究を行っている日本で唯一の自然科学の総合研究所である。多くの心理学者も勤めている。理化学研究所は東武東上線で最も重要な施設といっても過言ではない。

オフィシャルサイトは、<https://www.riken.jp/>

住所は、〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1

理化学研究所の栄光の歴史

理化学研究所が輩出した科学者には、鈴木梅太郎、寺田寅彦、中谷宇吉郎、長岡半太郎、池田菊苗、本多光太郎、湯川秀樹、朝永振一郎、仁科芳雄などがいる。

理化学研究所の歴史は、高峰譲吉が「国民科学研究所」の必要性を提唱したのがきっかけである。渋沢栄一らが協力し、1917年に財団法人理化学研究所として実現した。東京の文京区駒込に設立された。初代所長は菊池大麓（1917）、第2代所長は古市公威（1917～1921）、第3代所長は大河内正敏（1921～1946）、第4代所長は仁科芳雄（1946～1948）といったそうそうたる科学者が所長をつとめた。

1922年には、主任研究員制度発足（主任研究員が裁量権を持って研究室を主宰する制度）を採用し、各帝国大学の研究者が参加した。その中には、長岡半太郎、池田菊苗、鈴木梅太郎、本多光太郎、真島利行といった学者がいる。1937年には、仁科芳雄研究室が日本で最初のサイクロトロンを完成させた。

太平洋戦争の終結で、1946年、GHQの指令により理化学研究所は解体された。この時に、仁科研究室のサイクロトロンも海中に投棄されたという。公職追放された大河内に代わり、仁科芳雄が第4代所長に就任した（1946～1948）。

戦後は、株式会社科学研究所となり、純民間企業となった。特殊法人となり、1966年に、駒込から和光地区に移転し始め、1967年に移転した。

2003年に文部科学省所轄の独立行政法人理化学研究所となり、ノーベル化学賞を受賞した野依良治を理事長に迎えた。しかし、2014年には、神戸の理化学研究所のCDB（発生・再生科学総合研究センター）において、STAP細胞の事件がおこり、世間を騒がせた。2015年には国立研究開発法人理化学研究所となった。

理化学研究所の一般公開

理化学研究所はふだんは入れないが、年に1回、4月頃に一般公開の日には研究所内を見学できる（入場無料）。私は2019年4月の一般公開に参加した。超伝導リングサイクロトロンや、超伝導RIビーム生成装置など、巨大な装置が公開され、迫力がある。報道関係者も多く訪れていた。

理化学研究所の敷地は、長靴のような不規則な形をしている。これはとなりに在日米軍の施設があるからである（施設は厳重に警戒されている）。

ニホニウム通り

ニホニウム通り

ニホニウム通りには和光市によって元素プレートや記念碑が設置されている。

理化学研究所のホームページより

和光市から理化学研究所に向かう道の地面には、和光市によって、元素プレートや記念碑が設置されている。また、研究所の北側の通りは「ニホニウム通り」と命名されており、いろいろなオブジェや説明板が作られている。

ニホニウムとは、113番目の元素である。2004年に理化学研究所の森田浩介のグループが、線形加速器を用いて「113番元素」の合成に成功したと発表した。これによって命名権を得た。日本の名前を入れてニホニウムnihoniumと命名し、2016年に正式に決定した。元素記号はNh。

『ネイチャー』の元素名の予想では、天照大神にちなんだ「Amaterasium（アマテラシウム）」や、ゴジラにちなんだ「Godzillium（ゴジリウム）」なども候補にあがったという。

TJ-13 朝霞台駅
朝霞台駅から東洋大学へ

朝霞台から東洋大学へ



Googleマップ



大学のホームページより

浜崎黒目橋



朝霞市博物館



朝霞台駅から東洋大学の朝霞キャンパスに向かって歩く。
途中に、火の見やぐらのある消防署や、産業文化センター、図書館などを通る。浜崎黒目橋で黒目川を渡り、しばらく行くと、東洋大学に着く。
東洋大学の南東の方向に朝霞市博物館がある。また、東方向には、岡城の城山がある。

東洋大学 朝霞キャンパス

東洋大学 朝霞キャンパス



井上円了
Wikipediaより



キャンパスの南側は黒目川



朝霞台駅から10分ほど歩くと、東洋大学の朝霞キャンパスに着く。
東洋大学の歴史は、1887年に哲学者の井上円了（写真）によって作られた哲学館に始まる。1902年には、倫理学教師中島徳蔵の出題した内容について、視学官がクレームをつけて思想的議論に発展した「哲学館事件」がおり、そのゴタゴタで井上は1905年に引退した。1906年に東洋大学と改称した。1928年に大学令による東洋大学が認可され、1949年に新制大学として認可された。
キャンパスは、①本部のある白山キャンパス（文京区白山）、②朝霞キャンパス、③川越キャンパス（後述）、④清水町キャンパス（板橋区清水町）、⑤赤羽台キャンパス（北区赤羽台、旧赤羽台中学校跡地）、⑥板倉キャンパス（群馬県板倉町）がある。

この朝霞キャンパスには、ライフデザイン学部がある。キャンパスの北西側は、黒目川になっていて、のどかな散歩コースとなっている。

東洋大学のオフィシャルサイトは、<https://www.toyo.ac.jp/>

朝霞キャンパスの住所は、〒351-8510 埼玉県朝霞市岡48-1

東武東上線に裏切られた？東洋大学

東洋大学は、東武東上線に2つのキャンパスを持っている。実は、本部の白山キャンパスから地下鉄三田線で一本で行けるはずだったのだという。つまり、三田線の現在の終点は西高島平駅であるが、もともとは東武東上線の和光市駅まで延長されて、三田線と東武東上線は相互乗り入れをする予定だった。こうした交通の便を考えて、東洋大学は東武東上線にキャンパスを作った。ところが、のちに東武東上線は、地下鉄有楽町線との相互乗り入れを始めたために、三田線との相互乗り入れをやめて、和光市への延長も中止してしまったのだという。現在は、白山本部から東武東上線のキャンパスに行くためには、何回も乗り換えをしなければならないので不便である。東洋大学にしてみれば約束違反である。東武東上線は大学で持っているところがあるので（後述）、ちょっと驚く話ではある。

出典：『東武鉄道各駅停車』杉崎行恭、洋泉社、2015

TJ-14 志木駅

立教大学 新座キャンパス



志木駅から南に歩いて12分ほどで、立教大学新座キャンパスに着く。

立教大学には、池袋キャンパス（前述）と新座キャンパスがある。この新座キャンパスには、観光学部、コミュニティ福祉学部、現代心理学部が置かれている。現代心理学部は、2006年度に文学部心理学科から独立した。

私は、以前にこのキャンパスで、大学院現代心理学研究科臨床心理学専攻の非常勤講師をさせてもらったことがある。

立教大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.rikkyo.ac.jp/>

新座キャンパスの住所は、〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26



志木駅から北に歩いて8分のところに、慶應義塾志木高校がある。男子校であり、卒業生のほぼ全員が慶應義塾大学への無試験進学が認められている。

オフィシャルサイトは、 <https://www.shiki.keio.ac.jp/>

住所は、〒353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1

志木高校の歴史はかなり長い。1858年に、福澤諭吉が蘭学塾を開いたのが慶應義塾の始まりである。1944年、慶應義塾大学の日吉キャンパスの中に、慶應義塾獣医畜産専門学校が開設された。戦後、アメリカ軍により日吉キャンパスが接収されたため、専門学校は、川崎市の旧海軍東京通信隊の施設を借りて授業を再開した。1947年に、塾員の東邦電力 松永安左エ門から、東邦産業研究所の土地と建物が寄贈されて、専門学校はこちらに移転した。これが今のキャンパスとなった。1948年に、専門学校は、慶應義塾農業高等学校として出発した。1957年に慶應義塾志木高等学校と改称した。

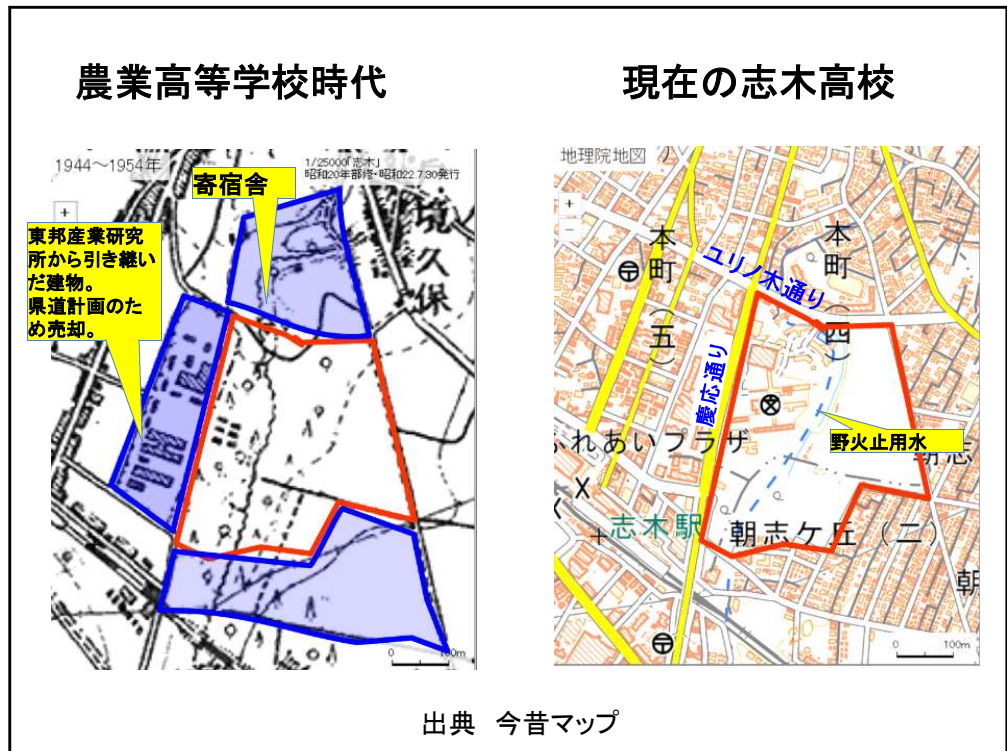
広大なキャンパス

志木高校の敷地は広大で（32529坪）で、東京ドーム2個分である。地図に示すように、キャンパスの西側に校舎が並んでいる。

キャンパスの東側は、グラウンドなどの運動施設であるが、農業高等学校には農地だった。今でも、畑の一部は残っており、ここで耕作授業が行われているという。慶応高校というとシティボーイのイメージがあるのでやや意外な感じ。

また、キャンパス中央部分は、南北に林が走っている。これは昔の野火止用水が走っていた部分である。用水は今では暗渠となったが、その跡に樹や竹が生えている。志木高校のホームページの「志木高豆百科」によると、校内には「野火止用水」の跡の説明板が立っているとのことである。

周囲は高層マンションや住宅地となっており、このような武蔵野の面影を残す恵まれた自然環境は貴重である。



出典 今昔マップ

志木高校のキャンパスはとても広いが、それでも農業高校時代と較べると半分ほどに減っているという。右の地図の赤く囲ってある部分が現在のキャンパスである。西側は「慶応通り」、北側は「ユリノ木通り」に囲まれている。右側の地図で、キャンパスの真ん中を走る青い線が、野火止用水の跡である。

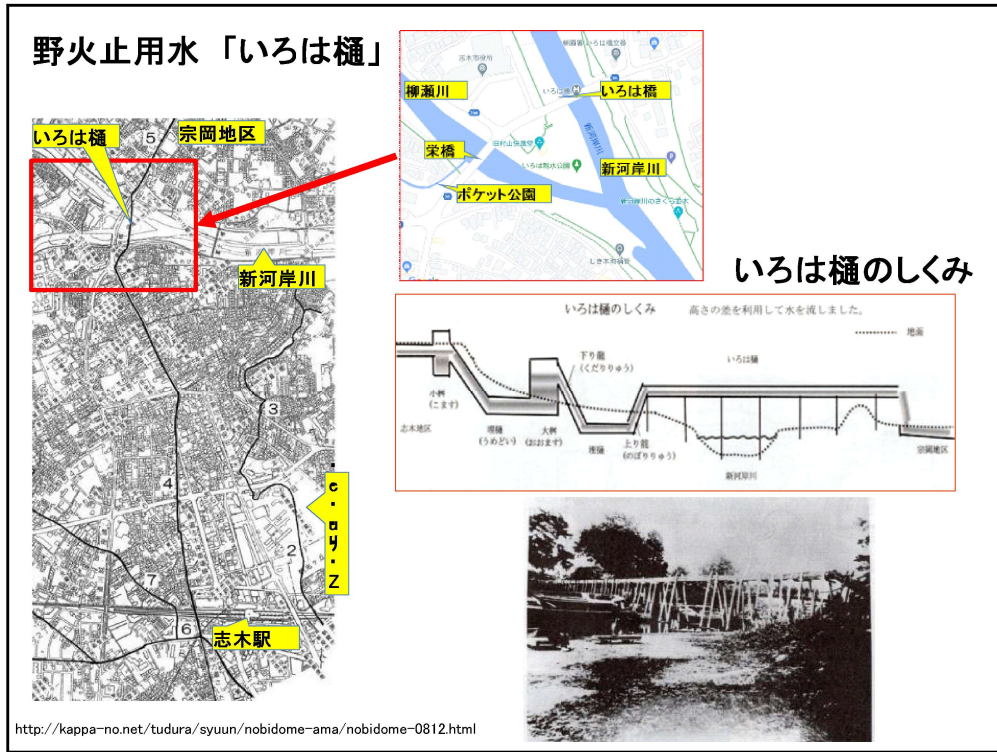
左の地図は1955年あたりのものである。農業高校時代（1948～1957年）の敷地は、今よりかなり広がった。青で囲った部分が売却された部分である。

まず、現在の「慶応通り」から西側の部分に、東邦産業研究所から引き継いだ建物があり、これを農業高校が利用していた。ところが、キャンパス内を県道が通ることになったため、1964年に、西側の敷地内約1万坪を売却した。現在、ここにはマンションが建っている。新しい県道というのが、今の慶応通りである。現在の高校の敷地は、当時は畑や宿舎が建っていたが、1968年に新校舎ができた。

また、ユリノ木通りから北の部分も、農業高校時代の敷地で、高校の寄宿舎があった。野火止用水も通っていた。しかし、2002年に売却されて、マンションが建てられた。この時に近くの住民たちは、「慶応高校の緑に想いを寄せる会」を設立して対抗した。いわゆる「旧寄宿舎寮跡地の売却問題」である。現在、この地の北西側の斜面に「けいおうふれあいの森」が作られて、協定緑地となっている。野火止用水も緑地のへりを通っている。

さらに、敷地の南の部分も、形状からみて、農業高校の敷地だった可能性が高い（私の勝手な想像）。

野火止上水と「いろは樋」



野火止用水は、立川市の玉川上水から、志木市を通り、新河岸川（しながしがわ）に注ぐ25キロメートルの用水路である。江戸時代に灌漑用に作られ、現在は暗渠となっている部分が多い。

志木市を流れる用水には、地図に示すように、おもに2本ある。第1は、前述のように、慶應義塾志木高校のキャンパスを通り、北上して新河岸川に注ぐルート。

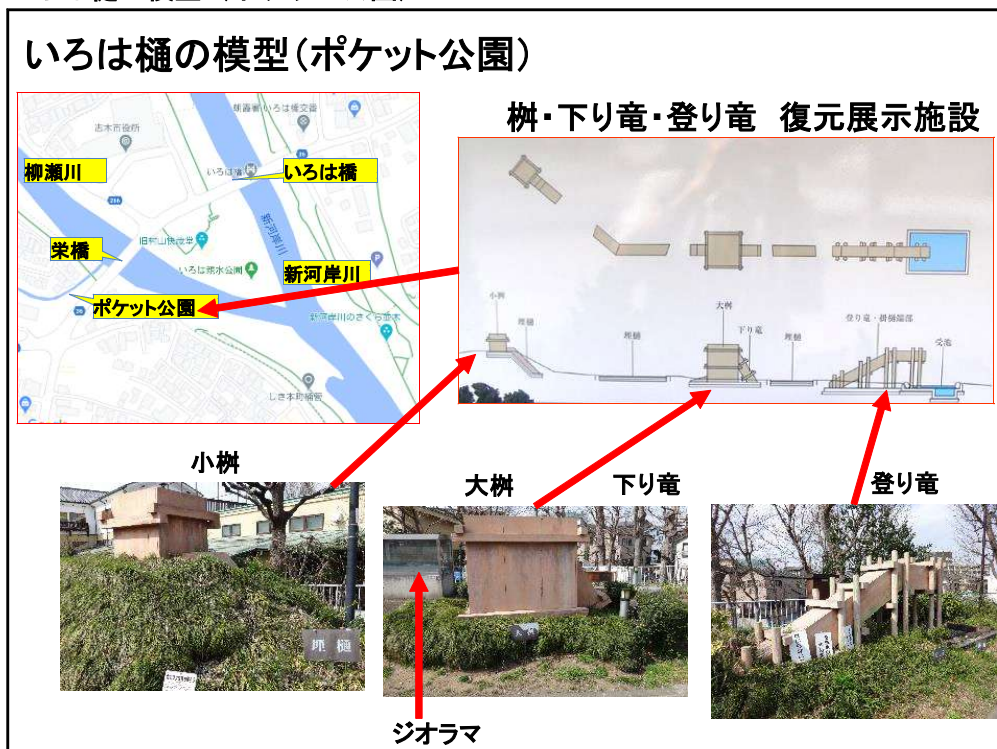
第2は、志木駅の西側を通り、北上して新河岸川に注ぐルートである。

いろは樋のしくみ

用水の水は、対岸の宗岡地区を灌漑するために、樋（とい）を使って新河岸川を跨いで、対岸に流れていた。新河岸川を跨いだ木の樋は「いろは樋」と呼ばれ、長さ240メートルで、当時の最高の土木技術であった。右の真ん中の図のように、水面からの高さは4.4メートルで、その下を舟が通れる高さである。

右下の写真は、1897（明治30）年頃のいろは樋の写真である。

いろは樋の模型（ポケット公園）



いろは樋の模型が、栄橋のたもとにある。栄橋までは、志木駅から歩いて20分ほどである。

栄橋手前の市場坂上の交差点のところに、「ポケット公園」があり、そこに「樹・下り竜・登り竜 復元展示施設」が作られている。上流の「小柵」、いろは樋の手前の「下り竜」と「昇り竜」が実物大で置かれ

ている。交通量の激しいところに無造作に置かれているので気づきにくいですが、その仕組みは面白い。

いろは樋のジオラマ（ポケット公園）

このポケット公園には、ジオラマが展示されていて、用水と樋が水を送るシステムが立体的にわかりやす



く解説されている。ガラスケースの中に、結構大きなジオラマが飾ってある。

上流の野火止上水から、いろは樋で新河岸川を渡るまでが再現してある。いろは樋と並行して、引又橋がかかっているのがわかる。

交通量が激しく廃棄ガスでガラスケースが濁っていて、中の説明板が読みにくいのが難点であるが、なかなか面白いし、わかりやすい。こどもの学習用に作られたのだろうが、大人でもなかなか楽しめるジオラマである。

いろは親水公園



いろは橋のあたりは、いろは樋の模型のほかにも、いろいろな見所がある。

いろは親水公園

栄橋を渡ると志木市役所があるが、その向かいがいろは親水公園である。新河岸川に柳瀬川が合流する地点は、ちょうど舟の舳先のように尖っていて、その部分に公園が作られている。ちょうど中州のような感じになり、2つの川の合流点の間近に見られて絶景である。桜の季節は両岸が満開になる。川鳥のバードウォッチングの施設もある。

村山快哉堂

1877（明治10）年に建てられた土蔵造りの薬局の建物が保存されている。今の本町3丁目あたりに建てられたものだが（後述）、いろは親水公園の中に移築され、市指定の有形文化財となっている。私は何回もこの前を通ったが、コロナ禍でなかなか開いていなかった。たまたま開いている日に中を見ることができたが、団体客で行列ができていた。

オフィシャルサイトは、<https://www.city.shiki.lg.jp/sp/index.cfm/53,2440,134,576.html>

住所は、〒353-0002 埼玉県志木市中宗岡5-7040-2

志木市立郷土資料館

ここから少し先のほうに、志木市立郷土博物館があり、野火止用水の説明などがある。

新河岸川

新河岸川のこのあたりには「閘門」（こうもん）が設けられた。これは水位の異なる川で船を上下させるための装置である。このため、ここは「埼玉のパナマ運河」と言われたそうである。新河岸川の両岸は、桜の名所として知られている。

柳瀬川

柳瀬川の両岸も桜の名所として知られている。柳瀬川沿いの土手は東武東上線の柳瀬川駅に達する（後述）。

市場通り

栄橋から南に「市場通り」が走る。市場通りは、蔵造りの建物など昔の豪華な商店の雰囲気を残していて貴重である。この通りを南下すると志木駅に至る。

新河岸川と引又河岸



市場通りが栄えていたのは、新河岸川の舟運によるものである。新河岸川は、上の図のように、川越と江戸を結ぶ舟運で栄えた。新河岸川にはいくつかの河岸が作られたが、志木には引又河岸（ひきまたかし）が作られた（右上の写真）。豪商も現れた。

左下は1814年の「引又宿」の地図である。上のほうに新河岸川と柳瀬川と「いろは樋」が描かれている。新河岸川には、舟から荷物を上げ下ろしする「引又河岸」が作られていた。そこから南に延びる「引又宿」には、宿屋や商店が並んで栄えていた。前述の「村山快哉堂」は、この通りの少し南側に建っていたのである。この通りに「引又市場」という市場も作られ、それが今の「市場通り」の由来となった

志木市の謎が解けた

昔から志木市の中心は、この「引又河岸」のあたりだったのである。だから市場通りは今でも商店が多い。だからここに志木市役所が作られたわけである。

なぜ志木市役所がここにあるのだろうか、私は不思議に思っていた。東武東上線が通る市の市役所は、だいたい駅から離れていない。和光市、朝霞市、ふじみ野市、坂戸市は駅から1キロメートル以内にある。川越市とJR本川越駅は1.4キロメートルでやや離れているものの、志木市役所は志木駅まで1.7キロメートルもあり、東武東上線の中では最も遠い。たいてい市役所は、町の繁華街か役所街に作られるものだが、志木市役所は、志木駅の繁華街から遠い位置にある。住民が志木市役所に行くにはバスを利用する必要がある。

志木駅は、志木市ではなく、新座市にあるが、これも志木市の謎のひとつ。ただし、志木駅の北側はすぐに志木市になる。

しかし、明治時代まで志木市の中心はもともと「引又河岸」にあったことを知ると、志木市の謎が解ける。

志木市役所はあくまで志木市の中心に置かれた。後に、1913（大正3）年に、東武東上線という一私企業が、遠回りの引又河岸ではなく、志木市の南のはずれに志木駅を作った。舟運駅と鉄道駅という2つの中心ができたことになる。そして、鉄道駅が勝ち、人の流れは南に向かうようになり、結果的に引又河岸の地は寂れていき、市役所は駅から遠く取り残されてしまったというわけだ。

舟運と陸運と鉄道の三つ巴のドラマである。順を追って考えてみよう。江戸時代は、江戸と川越の間には、新河岸川（舟運）と川越街道（陸運）がだいたい並行して走っていた（だいたい2キロメートル）。ただし、この志木のあたりだけ、新河岸川と川越街道の間は4キロメートルとなり、例外的に離れていた。大正時代になって東武東上線が新河岸川と川越街道の間に敷かれた。そのルートを見ると、一般的には川越街道寄りであり、新河岸川から離れている。志木のあたりを見ると、実は、東武東上線は、新河岸川と川越街道のちょうど真ん中を通っている。東武東上線は中立だったのである（ここを強調したい）。ところが、前述のように新河岸川と川越街道の間が長すぎたため、結果として、新河岸川の引布地区と鉄道の志木駅の間が離れてしまったのである。その後、江戸時代の舟運と陸運は、大正時代になると、鉄道に負けてしまうのである。

TJ-15 柳瀬川駅

桜の名所 柳瀬川

柳瀬川駅のすぐ前を柳瀬川が流れている。柳瀬川は、多摩湖に水源を持つ川である。

駅のあたりの土手は桜の名所で、春には花見客で賑わう。ただし、2020年の春は、緊急事態宣言で、それほど混雑はしていなかった。川沿いに歩くと、前述の栄橋に達し、そこから志木駅に向かうコースは、コロナ禍での恰好の散歩コースだった。

途中で長勝院旗桜が見られる長勝院がある。

TJ-18 ふじみ野駅

ふじみ野駅から文京学院大学へ

ふじみ野駅から文京学院大学へ



Googleマップ

陽気な旅人像



角の常夜灯



ふじみ野駅の副駅名は「文京学院大学前」である。ふじみ野駅から南に文京学院大学をめざす。

途中に「陽気な旅人像」がある。このあたりは大井宿と呼ばれ、川越街道の宿場として栄えた。当時の旅人をユーモラスなブロンズ像に再現したという説明がある。

また、「角の常夜燈」がある。旧川越街道と地藏街道の交差点を「角」と呼んだ。この常夜燈は1802年に旅人の道標として建てられたが、農作物の豊穰を祈るという意味もあった。

文京学院大学 ふじみ野キャンパス



Googleマップ



Googleマップ



ふじみ野駅から南に歩いて26分のところに、文京学院大学ふじみ野キャンパスがある。
1964年に文京女子短期大学として文京区に開学し、1991年に文京女子大学として設置され、2002年に文京学院大学と改称した。2005年から男女共学となった。

文京学院大学は、本部のある①本郷キャンパス（文京区向丘）と、②ふじみ野キャンパスを持っている。
このふじみ野キャンパスには、人間学部と保健医療技術学部がある。人間学部の中に心理学科がある。

大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.u-bunkyo.ac.jp/>

住所は、〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196

なお、ふじみ野駅からは、跡見女子大学新座キャンパスへのスクールバスが出ているが、この大学はJR川越線の新座駅の近くである。

TJ-20 新河岸駅

新河岸駅から東邦音楽大学へ



新河岸駅から東邦音楽大学をめざして歩く。

東に歩くとすぐに、畑の中に東京国際学園外語専門学校がある。

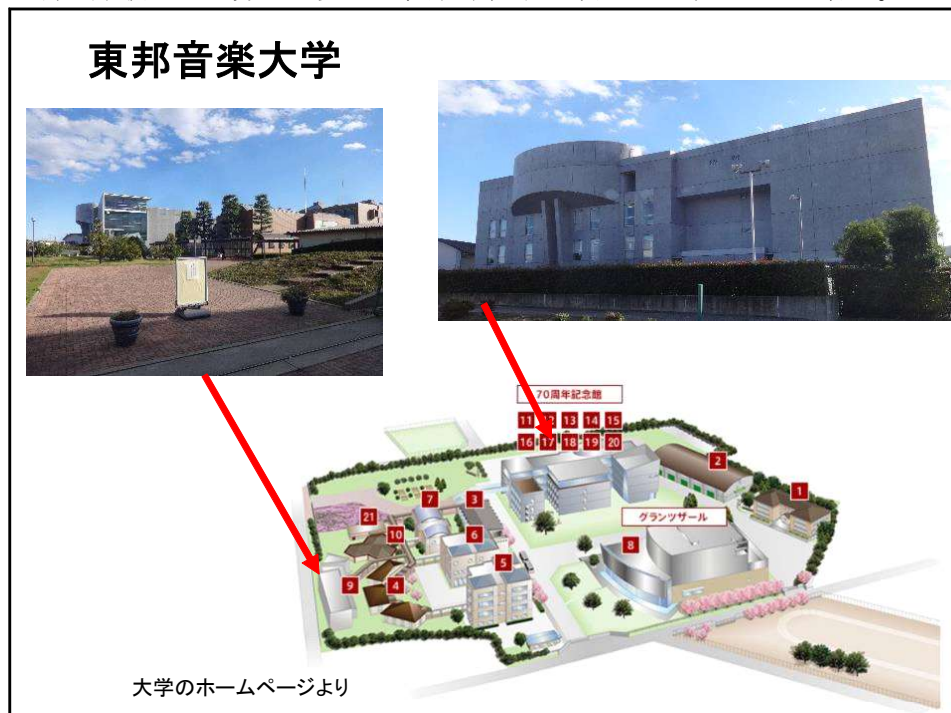
その北に新河岸川の河岸場跡がある。川に降りて行ける。そこから新河岸川に沿って歩く。川沿いに歩くのは気持ちが良い。

新河岸川については、志木駅の野火止用水と「いろは樋」のところで触れた。新河岸川は、九十九曲と呼ばれるほど曲がりくねっているが、舟が動きやすい水量を確保するために、人工的にルートを曲げたからである。この地にも、河岸場が設けられ、豪商も生まれた。そのひとつの新河岸の船問屋である伊勢屋の建物が保存されている。

NHK『ブラタモリ#9 小江戸・川越』で取りあげられていた。タモリが船頭になって、川舟をよるよる操縦し、伊勢屋の内部も紹介。

東邦音楽大学

新河岸駅から40分ほど歩くと、東邦音楽大学川越キャンパスに着く。なお、JR川越線の南古谷駅からは歩



いて10分ほどである。

東邦音楽大学の歴史は、1934年に、東京高等音楽学院（国立音楽大学の前身）の院長であった三室戸敬光

が、JR大塚駅前に「東京高等音楽学院大塚分教場」を作ったことに始まる。この大塚分教場を、1938年に東邦音楽学校として開設した。1965年に、東邦音楽大として開学した。

東邦音楽大学は、川越キャンパスと文京キャンパス（東邦音楽短期大学、大学院など）がある。川越キャンパスには音楽学部がある。コンサートなど、音楽を通じた地域社会との交流を積極的に行っている。

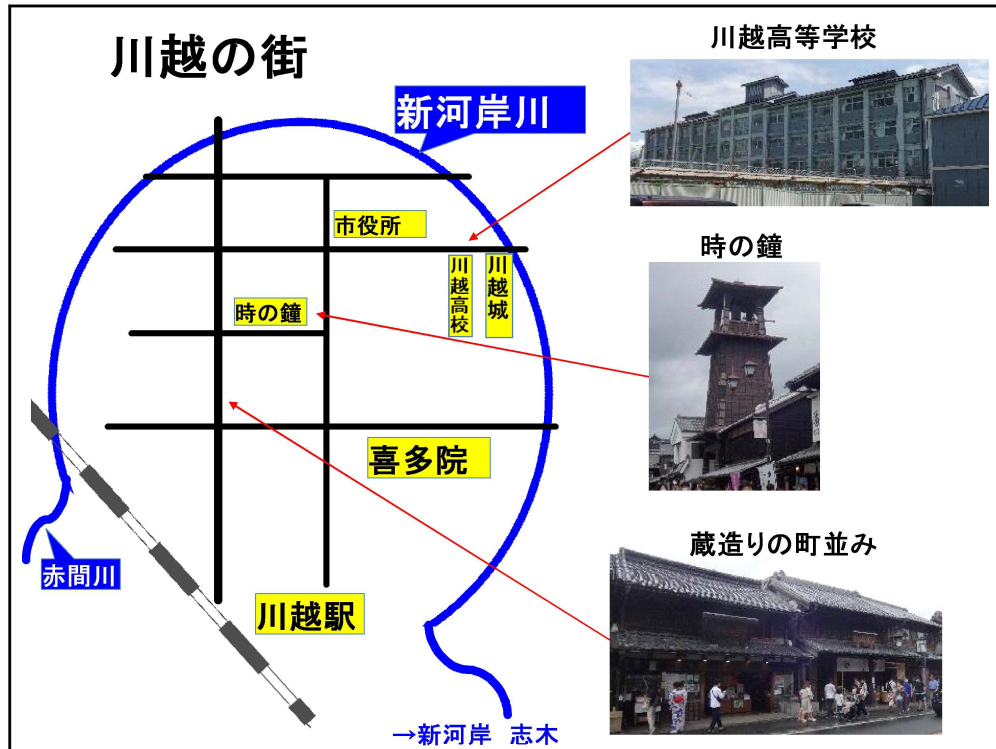
川越キャンパス内には、大学附属の東邦第二高等学校がある。

大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.toho-music.ac.jp/>

住所は、〒350-0015 埼玉県川越市今泉84

TJ-21 川越駅

川越の街



川越は「小江戸」と呼ばれ、文化財の数では、関東で鎌倉、日光に次ぐ。

川越の街は、地図に示すように、まわりを新河岸川に囲まれている。新河岸川は、もともと川越と江戸を結ぶ水路として整備され、これまで何回か述べてきたように、江戸時代は舟運で栄えた。川越という地名からも川との関係が強い。なお、新河岸川は、東武東上線を超えたあたりから、「赤間川」と名前を変える。

川越は川越藩の城下町である。江戸幕府の北の守りの地であるため、幕府の要人が川越藩に配された。それで「小江戸」と呼ばれた。川越城の城址は市の東北側にある。川越市役所は、城の近くに置かれている。城址の北側に川越市立博物館と川越市立美術館が並んでいる。

埼玉県立川越高等学校

川越城の敷地だったところに、埼玉県立川越高等学校が建っている。有数の受験校で、ノーベル物理学賞の梶田隆章（後述）などが出ている。

川越市の観光は、駅から延びる中央通りが中心である。蔵造りの町並みが続き、有名な「時の鐘」がそびえる。『プラタモリ#9 小江戸・川越』では、時の鐘の中に入り、火事対策としての蔵造りの機能とデザインについて語っていた。

近くには山崎美術館（橋本雅邦のコレクション）がある。また、このあたりは、洋館も多く保存されているのも印象的である。ただ、中央通りはいつも観光客で混雑している。コロナ禍が終息したらゆっくり街中を歩くことにしよう。

喜多院 天海と徳川家



川越の政治史を反映しているのが「喜多院」である。

天台宗の僧である天海が、1599年（関ヶ原の戦いの前年）に、この寺の住職となり「喜多院」と改めた。天海は、徳川家康の宗教的ブレーンとして、江戸の街を設計するにあたり、中国の陰陽五行説にもとづいたアドバイスをしたことで知られる。家康が亡くなった時は、家康の遺体をわざわざここに運んで法要をおこなった。1536年？に生まれ、1643年107歳まで生きたという伝説である。

3代目の徳川家光は、江戸城の「家光誕生の間」や「春日の局化粧の間」をこの喜多院に移築させた。新河岸川の舟運が開かれたのは、実はその移築の材料を運ぶためだったのである。

天海はこれだけの勢力を持った人物だったので、川越藩主たちは喜多院を大いに援助した。徳川幕府の歴史の秘密を考えるうえで面白いスポットである。

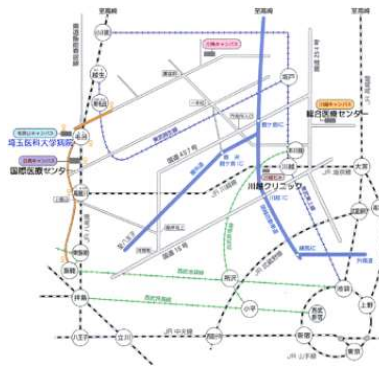
境内には、家光が移築させた客殿（徳川家光誕生の間がある）や書院（春日局化粧の間がある）がある。また、五百羅漢像、多宝塔、葵庭園などがある。東側の山門を出たあたりに、天海の像が立っている（なぜか敷地の外に立っている）。

埼玉医科大学川越クリニック

埼玉医科大学 川越クリニック



Googleマップ



| | | |
|----------|---|---|
| 6F 4F | 大学施設 | |
| 3F | ペインクリニック、東洋医学(鍼・漢方) 美容外科、胎児超音波専門外来、スタッフ室 | |
| 2F | こどものこころ、メンタルヘルス、小児神経科、 成長発達支援、小児糖尿病、生活習慣病、 糖尿病・内分泌・生活習慣病、東洋医学(漢方) | |
| 1F | 骨粗鬆症、消化器・肝臓疾患/機能性消化 管障害・難治性肝障害、海外渡航・感染症/ トラベルワクチン、栄養相談、臨床検査室、 総合案内、待合、会計 | P |
| B1F | スポーツ医学 リハビリテーション | P |
| B2F | 画像検査室 | |

大学のホームページより

川越駅から南に歩いて4分のところに、埼玉医科大学川越クリニックがある。

埼玉医科大学は、1972年に毛呂病院を母体として設置された。

埼玉県南部にいくつかのキャンパスを持っている。①毛呂山キャンパス（医学部、大学院、短期大学、大学病院）、②日高キャンパス（保健医療学部、国際医療センターなど）、③川角キャンパス（保健医療学部理学療法学科、医学基礎部門）、④川越キャンパス（総合医療センター、看護専門学校など）、⑤川越クリニックである。

この川越クリニックは、いくつかのクリニックの集まりで、2004年にオープンした。外来患者だけを扱い、入院設備はない。

クリニックの建物は、川越駅の南側のコンコースからよく見える。

オフィシャルサイトは、 <http://www.kc.saitama-med.ac.jp/>

埼玉医科大学川越クリニックの住所は、〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町21-7

●第3区間 近郊区間 川越市駅～坂戸駅

東武東上線は、川越をすぎると乗客は少し減る。川越市駅から坂戸駅までの5つの駅の間を近郊区間と呼んでおこう。川越市と坂戸市を通る。坂戸駅は東武生越線への乗換駅である。

TJ-22 川越市駅

尚美学園大学

尚美学園大学

Google マップ

大学のホームページより

川越市駅から西に歩いて29分で尚美学園大学に着く。

1981年に尚美音楽短期大学（上福岡キャンパス）が開学し、2000年に尚美学園大学として出発した。2013年には、上福岡キャンパスを閉鎖し、川越キャンパスに統合した。芸術情報学部、総合政策学部、スポーツマネジメント学部からなる。

大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.shobi-u.ac.jp/>

住所は、〒350-1110 埼玉県川越市豊田町1-1-1

TJ-23 霞ヶ関駅

東京国際大学 第1キャンパス

霞ヶ関駅には東京国際大学の第1キャンパスと第2キャンパスがある。以前は、霞ヶ関駅の副駅名が「東

東京国際大学 第1キャンパス



Googleマップ



大学のホームページより



ヒューム
Wikipediaより

京国際大学前」であった。

この大学は、1965年に、一橋大学出身者の有志らによって、国際商科大学として開学し、1986年に東京国際大学に改称した。略称はT I U。

東京国際大学のキャンパスは、①第1キャンパス、②第2キャンパス、③坂戸キャンパス（後述）がある。

第1キャンパスは、霞ヶ関駅から歩いて9分のところにある。第1キャンパスには、商学部、経済学部、言語コミュニケーション学部からなる。

東京国際大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.tiu.ac.jp/>

第1キャンパスの住所は、〒350-1197 埼玉県川越市的場北1-13-1

東京国際大学 第2キャンパス

第2キャンパスは、霞ヶ関駅から歩いて16分ほどのところにある。第2キャンパスには、国際関係学部、

東京国際大学 第2キャンパス



Googleマップ



大学のホームページより



川越線
牛塚古墳

人間社会学部がある。人間社会学部の中に、福祉心理学科がある。

第2キャンパスの住所は、〒350-1198 埼玉県川越市的場2509

デビッド・ヒューム・コレクション 連合主義心理学の祖

第1キャンパスの図書館の稀観本書庫には、「デビッド・ヒューム・コレクション」がある。これは、イギリス経験論哲学のヒュームに関連した図書のコレクションである。

デイビッド・ヒューム (David Hume、1711-1776) は、ヒュームはスコットランドに生まれ、1740年に『人性論』を書いた。

ヒュームは、ジョン・ロックの観念論をより徹底させた。バークリーは外界を否定し、自我(知覚の主体)を重視したが、これに対して、ヒュームは、主体としての自我というものを認めず、外界からの感覚印象を重視した。ヒュームによると、外界からの感覚印象によって「観念」は作られるが、それは心の作用によるのではなく、一定の法則にしたがって機械的に連合されるのである。こうした「観念の連合」について、ヒュームによると、観念の連合がおこるのは、「類似性」「時間的・空間的な近接性」「原因と結果の因果関係」にもとづくという。これらは、人の心の働きによるのではなく、物理的な法則(今の言葉で言えば、脳の物理的メカニズム)であって、人間の理解力を越えている。つまり、観念は、感覚からボトムアップ的に機械的に組上がっていくのであり、自我が主体的にトップダウン的に観念を統合するのではない。このように、ヒュームの考え方は、主体を認めない徹底したものである。その一方で、外界の存在を認めるわけでもない。ヒュームはひたすら感覚や観念の分析に終始し、観念連合の法則が人間の理解力を越えていると考える。主体も外界も神も認めないという徹底した点が、不可知論や懐疑論と称されるゆえんである。ヒュームによって「観念の連合」が主題となり、のちの連合心理学の土台が作られた。ヒュームは、自然科学の方法を人間性の研究に適用して、人間の科学をうち立てようという志向があった。その点でも、ヒュームは連合主義心理学の祖といえる。

牛塚遺跡

第2キャンパスの西側に牛塚遺跡がある。これは的場古墳群の一つで、前方後円型の古墳である。横から見ると、牛が寝そべっているように見えるのでそう呼ばれる。

TJ-24 鶴ヶ島駅

東洋大学 川越キャンパス



鶴ヶ島駅から歩いて7分で、東洋大学川越キャンパスに着く。

東洋大学は、前述のように、①白山キャンパス、②朝霞キャンパス、③川越キャンパス、④清水町キャンパス、⑤赤羽台キャンパス、⑥板倉キャンパスを持っている。

川越キャンパスには、理工学部(工学部)と総合情報学部がある。キャンパスの中には、大越記念公園があるが、一般公開はされていないようだ。

大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.toyo.ac.jp/>

川越キャンパスの住所は、〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100

TJ-25 若葉駅
女子栄養大学

女子栄養大学



Google マップ

女子栄養大学 香友会





大学のホームページより



若葉駅から歩いて5分ほどで、女子栄養大学のキャンパスに着く。
 1950年に女子栄養短期大学として開設され、1961年に女子栄養大学として設置された。栄養学部、栄養学部二部、短期大学部の3学部からなる。
 坂戸キャンパスに大学本部と栄養学部がある。もうひとつの駒込キャンパス（豊島区駒込）には、栄養学部二部と短期大学部がある。
 大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.eiyo.ac.jp/>
 坂戸キャンパスの住所は、〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田3-9-21

筑波大学附属坂戸高校

筑波大学付属坂戸高校



Google マップ






若葉駅から歩いて7分ほどのところに、筑波大学附属坂戸高等学校がある。
 この学校の歴史は、1946年に作られた坂戸実務学校・坂戸実修女学校にさかのぼる。1949年には、東京高等師範学校の代用附属高等学校になり、1953年に、国立東京教育大学の附属坂戸高等学校となった。1978年に筑波大学附属坂戸高等学校と改称した。
 キャンパスはかなり広く、圃場（農場）、温室、水田、里山などもある。

オフィシャルサイトは、 <http://www.sakado-s.tsukuba.ac.jp/>
高校の住所は、 〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田1-24-1

TJ-26 坂戸駅

坂戸市の西側に高麗川が流れる。近くの土屋神社は、古墳の上に建てられ、樹齢1000年の杉の神木が見下ろしている。このあたりは浅羽野と呼ばれ、万葉集にも詠まれたほど古い歴史がある。

●第4区間 田園区間 北坂戸駅～小川町駅

北坂戸駅から小川町駅まで7つの駅がある。東武東上線は、北坂戸駅くらいまでは住宅地の中を走るが、それを超えるあたりから田園風景が広がる。そこで、仮に田園区間と呼んでおこう。坂戸市・東松山市・滑川町・嵐山町・小川町を通る。

TJ-27 北坂戸駅

東京電気大学

東京電気大学



Google マップ



大学のホームページより



北坂戸駅から田んぼの道を歩いて54分、東京電気大学の鳩山キャンパスに着く。キャンパスは丘の上にある。北坂戸駅と高坂駅から直通バスが走っている。

東京電気大学の歴史は、1907年に創設された電機学校にさかのぼる。1939年東京電機高等工業学校となり、1949年に東京電機大学が設置された。

鳩山キャンパス（理工学部）と、千住キャンパス（工学部・工学部第二部・未来科学部・システムデザイン工学部）とからなる。千葉ニュータウンキャンパスは、体育施設である。

大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.dendai.ac.jp/>

鳩山キャンパスの住所は、〒350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂

TJ-28 高坂駅

東武東上線は、北坂戸駅くらいまでは住宅地であるが、それを越えるあたりから田園風景となり、小旅行の気分も増してくる。

梶田隆章ノーベル物理学賞受賞記念碑

梶田隆章先生ノーベル物理学賞受賞記念碑



梶田隆章

Wikipedia

スーパーカミオカンデの内部




スーパーカミオカンデのタンク内部 (写真提供: 東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設)

高坂駅の前には、梶田隆章先生ノーベル物理学賞受賞記念碑がたっている。

右側の石碑には、梶田の略歴と言葉が示されている。梶田隆章は1959年に東松山市に生まれ、川越高等学校（前述）、埼玉大学理学部、東京大学大学院を出て、1992年に東京大学宇宙線研究所の教授となった。2015年ノーベル物理学賞を受賞した。翌年に東松山市の名誉市民となった。その上には、自筆で次のように書かれている。

ニュートリノは極小の素粒子の世界と極大を結ぶかけ橋

左側の説明板には、「梶田隆章先生がノーベル賞を受賞するまで」が書かれている。大学院時代には小柴昌俊（1926～2020年）のカミオカンデで研究し、戸塚洋二のスーパーカミオカンデの研究に参加した。1998年に「ニュートリノ振動の発見」を発表し、その業績でノーベル物理学賞を受賞した。


「梶田隆章先生がノーベル物理学賞を受賞した理由」も書かれている。ニュートリノには電子・ミュー・タウの3種類があり、梶田は「タウがミューに変化する」ことを突き止め、3種類のニュートリノが互に変化する「ニュートリノ振動」を発見した。これによって、それまで質量がないと思われていたニュートリノに質量があることがわかった。この発見は本当にすごいことであり、SFの世界である。

この発見の舞台となった「スーパーカミオカンデ」の内部の写真も描かれている。

スーパーカミオカンデ

スーパーカミオカンデは、世界最大の「水チェレンコフ宇宙素粒子観測装置」である。

スーパーカミオカンデ 2人のノーベル賞受賞者を出した



スーパーカミオカンデ
神岡町公民館

小柴昌俊
Wikipediaより



戸塚 洋二
Wikipediaより




梶田隆章
Wikipediaより




スーパーカミオカンデの内部



光電子増倍管
Wikipediaより



断面模型
Wikipediaより



岐阜県飛騨市神岡町にある旧神岡鉱山内に設置されている。東京大学宇宙線研究所が運用している。この装置を用いた研究によって、小柴昌俊（1926～2020年）と梶田隆章のふたりがノーベル物理学賞を受賞した。小柴昌俊は、1983年にカミオカンデを作った。岐阜県の神岡鉱山の地下1000mにある観測装置であり、直径19メートル、高さ16メートルのタンクに、直径50cmの光電子増倍管948個を配し、超純水で満たした装置である。これを用いて、1987年、史上初めて太陽系外で発生したニュートリノを観測することに成功した。この仕事によって、2002年、小柴はノーベル物理学賞を受賞した。これによりニュートリノ天文学が誕生した意義は大きい。

カミオカンデの成功により、小柴の弟子の戸塚洋二ら東京大学宇宙線研究所のグループが、近くの場所に「スーパーカミオカンデ」を作った。これは直径39メートル、高さ42メートルのタンクに、直径50cmの光電子増倍管11,146個を配する装置であり、すべてがカミオカンデを上回るスケールである。1996年に稼働し、1998年、ニュートリノ振動を確認しニュートリノの質量がゼロでないことを世界で初めて示した。この装置によって、2015年、梶田はノーベル物理学賞を受賞した。

梶田は戸塚洋二の後継者としてノーベル物理学賞を受賞したのだが、戸塚は2008年に癌で亡くなっていたので、受賞できなかった。もしも戸塚が生きていれば梶田との共同受賞だったと言われている。

一度はスーパーカミオカンデの中を見てみたいみたいものである。時々内部公開のツアーがあるが、その応募の倍率は高いという。

ハイパーカミオカンデ

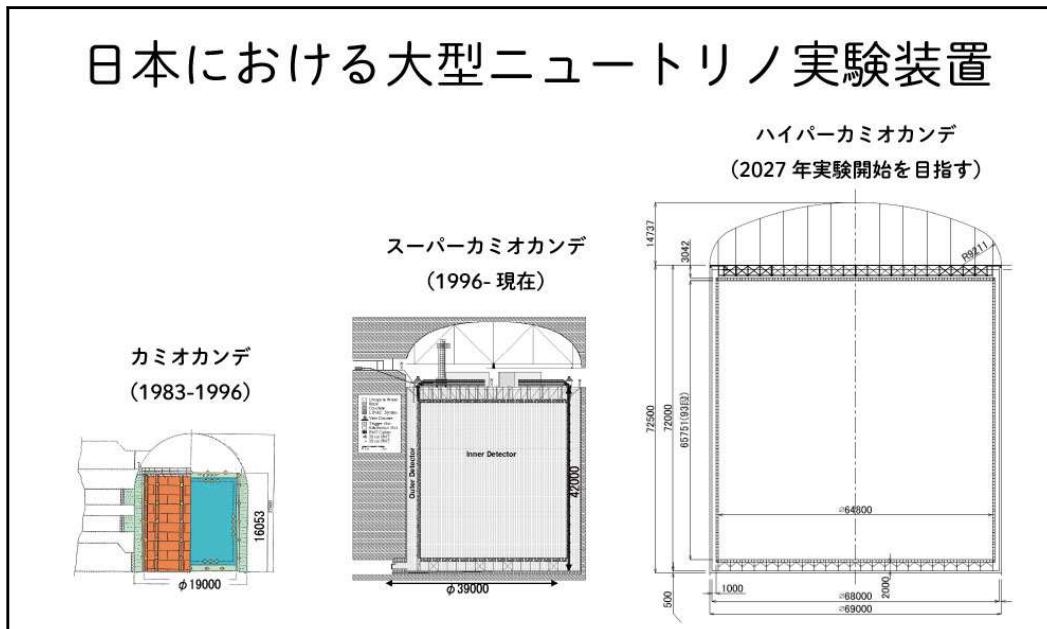
現在はさらにスケールアップした「ハイパーカミオカンデ」が計画中であり、2027年に完成の予定である。ハイパーカミオカンデのホームページには、下記のような表と図が出ていて、そのスケールアップには驚かれる。更なるノーベル賞も期待される。

日本における大型ニュートリノ実験装置

| | カミオカンデ | スーパーカミオカンデ | ハイパーカミオカンデ |
|--------------|--|-------------------------------|---|
| 観測期間 | 1983～1996年 | 1996年～現在 | 2027年観測開始をめざす |
| 大きさ | 19m直径 x 16m高さ | 39m直径 x 42m高さ | 68m直径 x 71m高さ |
| 純水質量 | 4,500トン | 50,000トン | 260,000トン |
| 光電子増倍管 | 50cm直径 948個 | 50cm直径 11,146個 | 50cm直径 40,000個相当 |
| 主な成果・期待される成果 | 超新星爆発からのニュートリノの世界初観測および太陽ニュートリノの観測による、ニュートリノ天文学の創生 | ニュートリノが質量を持つことを示す、ニュートリノ振動の発見 | (1)ニュートリノと反ニュートリノの振動の違い（CP対称性の破れ）の発見と精密測定による宇宙の物質の起源の解明 (2)ニュートリノ天文学のさらなる発展 (3)陽子崩壊の発見による「素粒子の統一」と「電磁力・弱い力・強い力の統一」の証明 |
| 主な受賞 | 2002年ノーベル物理学賞、小柴昌俊 | 2015年ノーベル物理学賞、梶田隆章 | |

出典 <http://www.hyper-k.org/index.html>

日本における大型ニュートリノ実験装置



出典 <http://www.hyper-k.org/index.html>

また、使命を終えたカミオカンデの跡地には、「カムランド」という装置が作られ、東北大学のチームが成果をあげている。

がんばれ梶田会長、学術会議の任命拒否問題

梶田隆章氏は、2020年10月から日本学術会議の会長に選ばれたが、この時に会員任命拒否問題がおこった。学術会議が推薦した会員候補のうち6名を内閣総理大臣が任命しなかった事件であり、学術会議の歴史でこんなことはなかった。学術会議は、6名の速やかな任命と、任命しなかった理由の説明を政府に求めている。元会員（幸い私は任命拒否されるほど大物でなかったの）のひとりとして心配している。私が常務理事をしている日本心理学会をはじめ、人文社会学系の300を超える学会がまとまって学術会議を支持する声明を出した。梶田氏は、学術会議会長として政府との交渉に当たり、苦勞されている。しかも、2020年11月12日には、恩師小柴昌俊氏の訃報が伝えられ、梶田氏には辛い日々が続いた。

梶田会長にはぜひがんばっていただきたいものである。

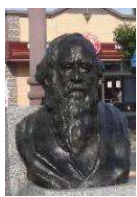
高坂駅 彫刻プロムナード



Google マップ



東松山市教育委員会のホームページより



タゴール



ガンジー



新渡戸稲造

高坂駅の副駅名は「大東文化大学東松山キャンパス前」である。高坂駅から西へ歩き、大東文化大学をめざす。高坂駅前には、大東文化大学と東京電気大学のスクールバス乗り場がある。

高坂駅西口から1キロメートルにわたって、32体の彫刻が並んでおり、彫刻通りと呼ばれる。

すべて彫刻家である高田博厚（たかた ひろあつ）の作品である。高田博厚（1900～1987年）は、石川県生まれで、31歳でフランスにわたって創作をおこない、ロマン・ロランをはじめとする知識人と交流した。57歳で、自作の彫刻をすべて破壊して日本に帰国した。帰国後は、彫刻の創作のかたわらいろいろな文化活動に従事した。（ちなみに、高田の娘和子は、荒地派の詩人田村隆一の元夫人で、ドラマ化されたねじめ正一の小説『荒地の恋』のモデルとなった。）

高田博厚は1986年、親交のあった東松山市教育長の縁で、高坂駅前に彫刻を置いた。最初は2体だけだったが、1994年に今のような32体となり、まさに野外彫刻ギャラリーとなっている。タゴール、ガンジー、新渡戸稲造、宮沢賢治、棟方志功、高村光太郎などの像もある。各彫刻には高田の短文が添えられている。

大東文化大学 東松山キャンパス



高坂駅から西に歩いて行くと、一本道になる。子ども動物自然公園があり、ここからゆるい坂道となり、さらに上がっていくと、大東文化大学の東松山キャンパスが見えてくる。さらに登ると、道の両側にキャンパスが広がる。建物は巨大で現代的である。スクールバスがひんぱんに走っている。

大東文化大学には、①板橋キャンパス（前述）と、②東松山キャンパスがある。すべての学部の1～2年生は東松山キャンパスに通い、3～4年生は板橋キャンパスに通う。ただし、国際関係学部とスポーツ・健康科学部は3～4年生も東松山キャンパスに通う。

大東文化大学の公式サイトは、<https://www.daito.ac.jp/>
東松山キャンパスの住所は、〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560

大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館

大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館



イギリス湖水地方のヒルトップ農場



大東文化大学が運営するビアトリクス・ポター資料館が近くにある。子ども動物自然公園（入場料520円）の中にあり、資料館に入るためにはさらに入場料200円が必要（65歳以上は無料）。

ビアトリクス・ポター（Helen Beatrix Potter, 1866～1943年）は、ピーターラビットの絵本で知られるイギリスの作家である。1902年に『ピーターラビットのおはなし』を出版し、このシリーズは児童文学の古典となった。婚約者の死をきっかけに、イギリスの湖水地方のヒル・トップの農場を手に入れて住み、自然に

囲まれた一生を送った。

イギリスのポターの自然農場を完全再現

ビアトリクス・ポター資料館には、ビアトリクス・ポターに関する本や資料を大量に収集しており、私家版初版本全6巻完全コレクションがあるのは世界中で当館だけという。

私はロンドン大学で研究していた2001年に、湖水地方のウィンダミアやグラスミアを旅行し、湖水地方の雄大な風景に圧倒された。イギリスのロマン派の詩人であるワーズワース、コールリッジ、サウジーたちは、湖水地方の自然をこよなく愛した詩を作り、「湖水詩人」などとも呼ばれたが、確かに納得できた。

当時の私はビアトリクス・ポターについての知識はなくて、湖水地方の景色を見るために行ったのだが、多くの日本人観光客がヒルトップ農場を見るためにイギリスにやってくることを知って驚いた記憶がある。ポターはロマン派の詩人たちの精神を受け継いでいる。右下の写真は、湖水地方にあるヒルトップ農場である。この資料館の建物はそれを再現しており、本家の雰囲気を楽しむことができ、たいへん貴重である。

ナショナルトラスト運動への支援

ビアトリクス・ポターが尊敬される大きな要因は、設立間もないナショナル・トラスト運動を支援したことである。ナショナルトラスト National trustは、1895年に設立された市民による環境保護団体であり、保護すべき自然環境の地域を買い上げて管理・保全する活動をおこなっている。創設者のひとりローンズリー司祭がポターと親しかったので、ポターはナショナル・トラストを支援するために、湖水地方の土地や建物を購入していった。それが今日まで引き継がれているのである。イギリスの地方に行くと、あちこちでナショナル・トラストのマークに出会う。この資料館は、入場料収入の一部をナショナルトラストに寄付している。東武東上線でこうした世界の動きを感じることができるのはうれしい。

資料館のオフィシャルサイトは、 <https://www.daito.ac.jp/potter/>

資料館の住所は、〒355-0065 埼玉県東松山市岩殿554 埼玉県こども動物自然公園内

山村学園短期大学



大東文化大学からさらに行くと、山村学園短期大学がある。入口にバス停がある。入口のところにキャンパス案内図がある。

そこから先は立入禁止である。ただ、平和資料館（後述）の展望塔の窓から、この大学を少しだけ見ることができる。それが右下の写真である。

1922年に山村学園（被服科）として創設された。当時は川越市にキャンパスがあった。これをもとにして、1989年に山村女子短期大学として開学し、2002年に山村学園短期大学と名称変更して、男女共学となった。保育学科単科であり、2019年から子ども学科へと改名した。

大学のオフィシャルサイトは、 <http://www.yamamura-tandai.ac.jp/>

住所は、〒350-0396埼玉県比企郡鳩山町石坂604

埼玉平和資料館

埼玉平和資料館



Googleマップ



入館パンフレット

東武東上線からも見える
ランドマークタワー






メインフロア(地下2階)

展望塔
展示室
会議室
受付
トイレ
エレベーター
階段

大東文化大学の向かいの道を北に入ると、埼玉平和資料館（ピースミュージアム）がある。高い展望塔がランドマークになっているので、すぐわかる。このタワーは東武東上線からもよく見える。

無料で入館できる。常設展示室では、1920～1940年代の昭和初期から終戦までの期間における埼玉県民と戦争との関わりについて展示している。展望塔には登ることができて、埼玉県の西側の地形がよくわかる。

オフィシャルサイトは、<https://www.saitama-peacemuseum.jp/>

住所は、〒355-0065 東松山市岩殿241-113

岩殿観音 日本の数学の額

岩殿観音 日本の数学の額



Googleマップ



観音堂境内見取図

正法寺の算額




関孝和
Wikipediaより



出典 http://www.ranhaku.com/web06_07culture_sports_02wsn06.html

大東文化大学と山村学園短期大学の中間あたりに入口がある。道をおりていくと、岩殿観音がある。正式には正法寺という。大イチョウの木が有名。さらに階段を降りると、仁王門があり、その下には、長い門前町ができていて、この空間構造の深さに驚く。

岩殿観音 正法寺のオフィシャルサイトは、<http://iwadonosan-shoboji.org/history/>

住所は、〒355-0065 埼玉県東松山市岩殿1229

和算の算額

観音堂の前に「和算の算額」という説明板がある。

「和算」とは、中国から伝えられた数学をもとに、江戸時代に日本独自に発展した数学であり、西洋の「洋算」と対比される。趣味として数学に親しみ、難しい問題に挑戦してそれが解けると、その問題や答えを書いた額を作り、それを神社仏閣に奉納する習慣があったという。埼玉県内だけでもそうした算額は80面も残っているという。その一枚が、この正法寺にある算額であり、内田祐五郎という和算家が、33歳頃によって奉納したものである。埼玉県域では、関孝和（せき たかかず、?～1708年）の流れを組む和算家が活躍した。そのひとりが内田祐五郎で、関流の和算を学び、多くの人に和算を教えた。

算額には、「奉懸御寶前算術問」と題して、上に二つの図形を記し、その下に、それぞれの図形についての問題と解法が記されているというから面白い。実物は見ることができないが、下記のサイトで、精密写真が公開されている。

http://www.ranhaku.com/web06/07culture_sports/02wsn06.html

TJ-29 東松山駅

東松山駅から武蔵丘短期大学へ

東松山駅から武蔵丘短期大学



梶田隆章先生
ノーベル物理学賞
受賞記念碑



下沼公園



東松山駅から東へ歩き、武蔵丘短期大学をめざす。途中にはいろいろな見所がある。駅前には、梶田隆章ノーベル物理学賞受賞記念碑がある。前述の高坂駅のものと同じである。また、後述の下沼公園などもある。

武蔵丘短期大学

武蔵丘短期大学



市野川を渡ると、東松山市から吉見町に入る。すぐに武蔵丘（むさしがおか）短期大学がある。入口のところが小さい広場になっていて、看板やキャンパスの案内図がある。建物は丘の上であり、階段をかなり登っていく。キャンパスは丘の上の高いところにあるので、見晴らしが良く、富士山もよく見えるという。

武蔵丘短期大学は、1968年に設立された武蔵野調理師学校をもとにして、1991年に短期大学として設置された。健康生活学科の中に、健康栄養専攻、健康スポーツ専攻、健康マネジメント専攻の3専攻がある。

大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.musashigaoka.ac.jp/>

住所は、〒355-0154 埼玉県比企郡吉見町南吉見111-1

松山城跡

武蔵丘短期大学のとなりの丘に、松山城跡がある。城はなくなったが、その跡は残っていて、城山を形成



している。

後述のように、戦争中は、この山にも地下軍需工場が掘られていた。城山の南側は断崖になっていて、工場跡も見える。

この城の支配者は、後北条氏や上杉氏など頻繁に入れ変わった。この城を甲斐の武田氏と北条氏の連合軍が攻めた。この時、新田次郎の小説『武田信玄』によると、「もぐら戦法」で穴を掘らせて地下から攻めようとしたという。

東松山市と吉見町を分けるのが市野川である。市野川は川幅が広く、土手の緑がとてもきれいである。土手は吉野百穴桜堤といって、桜並木となっており、春には桜の名所になる。

岩室観音堂

松山城の城山の北西側の斜面に、岩室観音堂が建っている。



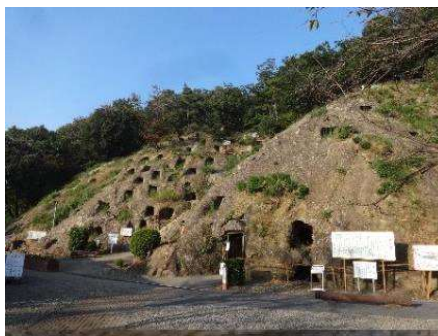
斜面に作られた急階段を登る。四国八十八箇所のミニチュア版があり、88体の地蔵が立っている。2室に分かれていて、左側が1～51、右側が52～88までとのこと。堂は2階建てになっていて、上の階にも急階段で登れる。

吉見百穴

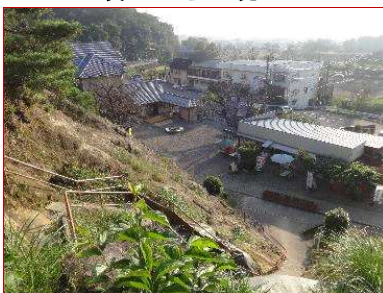
吉見百穴



入口からの眺め



頂上からの眺め



すぐ近くに有名な吉見百穴がある。丘の斜面に無数の穴があいている。入口で観覧料300円を払って入場する。入口横の建物で、百穴や地下軍需工場の説明板があり、ビデオでも説明している。

吉見町サイトの百穴の紹介ページは、http://www.town.yoshimi.saitama.jp/guide_hyakuana.html

吉見百穴の住所は、〒355-0155 埼玉県比企郡吉見町大字北吉見324

吉見百穴の発掘

吉見百穴の発掘

シーボルト



モース



坪井正五郎



根岸武香



白井光太郎



出典 上段はWikipedia
下段は 吉見町埋蔵文化財センター

吉見百穴の発掘の歴史はなかなか面白い。

吉見町埋蔵文化財センターでは、発掘に関わった学者がイケメンとして描かれている。

シーボルトの調査

この遺跡は早くから西洋人の関心をあつめ、シーボルトやモースがこの遺跡を調査している。

1878（明治10）年、オーストリア公使で考古学研究者のハインリヒ・フォン・シーボルト（Heinrich von Siebold、1852～1908年）が訪れている。彼は、江戸時代に長崎で医学・蘭学を広めたフィリップ・フォン・シーボルト（Philipp von Siebold、1796～1866年）の息子である。彼は吉見百穴はアイヌの遺跡だと思っていたらしい。

モースの調査

また、1882（明治15）年には、エドワード・モース（Edward S. Morse、1838～1925年）が訪れている。モースはアメリカ人で、1877（明治10）年に、お雇い外国人として東京帝国大学の動物学教授となった。大学では進化論を講義して大きな影響を与えた。1877年に大森貝塚を発見した。彼は大森貝塚の石器時代人（大森貝塚人）について、**プレ・アイヌ説**（古代の石器時代人は先住民族コロポックルであり、その後アイヌがコロポックルを追い出したとする）をとこなえたが、主流にはならなかった。

坪井正吾郎のコロポックル説

1887（明治20）年には、人類学者の坪井正吾郎（1863～1913年）が徹底的な学術調査をおこなった。坪井は、帝国大学理科大学動物学科を卒業し、帝国大学大学院に進学し、人類学を専攻した日本初の人類学者と言われる。1887年、大学院生だった坪井が、卒業研究の一環として吉見百穴の発掘を半年にわたりおこなった。この調査に協力したのが、根岸武香（貴族院議員だった郷土史家）と、大澤藤助（百穴の地主）である。この調査は日本人がおこなったもので、日本考古学の歴史の上で重要な意義があると言われる。この調査の結果、坪井は、「百穴は古代人の住居だが、サイズが小さすぎるので、先住民族コロポックル（アイヌの伝承に登場する小人）の住居だった」と結論した。

モースのプレ・アイヌ説

坪井の結論は、修士論文としても大胆な発想で面白いが、この説は、師のモースの『プレ・アイヌ説』にもとづくものである。当時は、日本の石器時代（大森貝塚人）についてアイヌ説とプレ・アイヌ説の論争があった。シーボルトやミルンは、**アイヌ説**（古代の石器時代人はアイヌであったとする）をとった。これに対し、モースは**プレ・アイヌ説**（古代の石器時代人はコロポックルであり、その後アイヌがコロポックルを追い出したとする）をとこなえた。坪井もモースに従って、吉見百穴のコロポックル説を出した。

「住居か墓か」論争の意外な決着

坪井のコロポックル説に対して、白井光太郎（後に東京帝国大学農科大学の植物病理学講座教授）が百穴は墓であると反論し、「住居か墓か」論争が続いた。坪井は帝国大学理科大学の教授となり人類学を確立した立役者なので、なかなかコロポックル説は否定されなかったが、1913年の坪井の死によって、コロポックル説は立ち消えて、墓説に落ちついた。

戦争中は地下軍需工場が作られたため、百穴は荒廃したが、戦後、松山高校（後述）の郷土部が調査を続け、遺跡も保存されている。

吉見百穴 中央通路



遺跡は2つの大きな丘からなり、中央通路という階段で上る。その両側の斜面に無数の穴があり、中を見学できる大きさのものもある。坪井の調査では237個の穴があったが、軍需工場によって一部がつぶされてしまい、今は219個になった。丘の頂上からの眺めはよく、富士山も見える。

吉見町埋蔵文化財センター

敷地内には、吉見町埋蔵文化財センターがあり、百穴で発掘された土器や埋蔵品が展示されている。



オフィシャルサイトは、 http://www.town.yoshimi.saitama.jp/shisetsu_maizoubunka.html

センターの住所は、〒355-0155 埼玉県比企郡吉見町大字北吉見321番地

正岡子規の歌碑

センターの前に、正岡子規の歌碑がある。正岡子規（1867～1902年）は、子規は1888年、まだ学生だった21歳の時に喀血し、肺結核と診断された。当時結核は死の病だったが、学生時代はけっこうあちこち旅行などして動いていた。大学卒業後は新聞記者をして、日露戦争に従軍するなどしており、それによって結核が進行し、34歳の若さで亡くなった。

子規が吉見百穴を訪れたのは1891年（24歳）、帝国大学文科大学の国文科の学生であった。この時に詠んだ句である。

神の代は **かくやありけん** 冬籠

すでに結核と診断されて、死を意識していたと思われる。

企画展「モースが吉見にやってきた」

2014年に、センターで「モースが吉見にやってきた」という企画展が開かれた。このポスターでは、モース、シーボルト、正岡子規、坪井正吾郎、根岸武香、大澤藤助といった学者や関係者がイケメンとして描かれている。

なお、敷地内には2軒の売店があるが、これは敷地の所有者によるものである。そのうち大澤売店は、前述の大澤藤助の子孫である。この売店には、百穴から見つかった様々な出土品が展示され（後述の閉塞石など）ていて、ミニ博物館のようになっている。

横穴墓の構造

百穴は、古墳時代の後期から終末期（6～7世紀後半）に作られた横穴墓である。横穴墓は45度の列をな

横穴墓の構造

吉見百穴の横穴墓が分布する斜面は平均45度の急な勾配があり、その配列は斜面ごとに斜行する平行線上に配列されているのがわかります。





出典: 吉見百穴パンフレット

している。

横穴墓の構造は、右上の図のように、入口から順に「前庭部」「羨道」「玄門」「玄室」という4つの空間に分かれる。奥の「玄室」には、ベッド（棺座）があり、ここに遺体を埋葬した。一つの穴に、次々と死者を葬る「追葬」がおこなわれていたという。棺座には排水溝も作られていた。ひとつの玄室内の棺座の数は、1個、2個、3個、0個の4種類がある。

また、玄室を上から見た形状は、正方形（第一形式）、長方形（第二・第三形式）、台形（第四・第五形式）、楕円（第六・第七形式）など、8つのタイプに分かれる。

玄門は、大きな石のフタで、塞がれていた。この石は、「閉塞石」と呼ばれ、その実物が敷地内の大澤売店に展示されている。

ヒカリゴケ自生地

岩山の下の方に、ヒカリゴケの自生している穴がある。ヒカリゴケはふつつ高い山に見られるもので、平

ヒカリゴケ自生地





野部で見られるのは珍しい。大正5年に岸勝弥氏によって発見され、「吉見百穴ヒカリゴケ発生地」として国の天然記念物に指定されている。小さな洞窟の中に自生していて、金網越しに中を覗くことができる。ひかりごけと言えば、武田泰淳の小説を思い浮かべるが、そんな陰惨なわけではない。

地下軍需工場跡

地下軍需工場跡



この洞窟は、
地下軍需工場
跡地です。

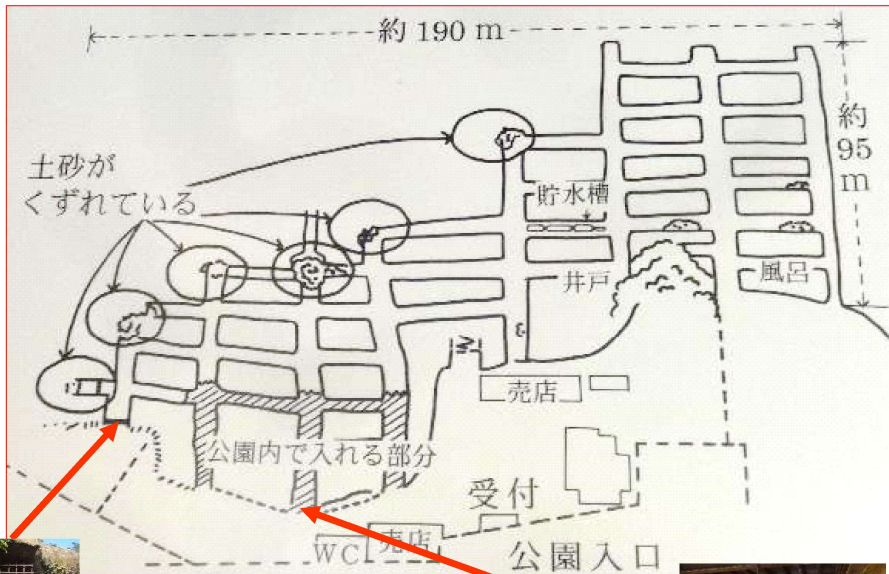


軍需工場跡は、崩落の危険があるため点検・調査を行っています。そのため、当分の間、洞窟内の立ち入りを禁止しています。

太平洋戦争末期の1944～45年には、日本中の工場が空襲で破壊された。中島飛行機工場は、空襲によって生産力が10分の1に落ち込んでしまったため、地下に軍需工場が作られた。そのため、この吉見百穴一帯の丘陵斜面にも、巨大なトンネルが数多く掘られた。この工場では、飛行機のエンジンの部品が作られたが、本格化する前に終戦を迎えたという。この工事には全国から朝鮮人労働者が集められて酷使された。

地下軍需工場跡（地図）

地下軍需工場跡



軍需工場跡は、崩落の危険があるため点検・調査を行っています。そのため、当分の間、洞窟内の立ち入りを禁止しています。



入口横の建物で、その歴史をビデオで解説している。トンネルの地図も展示されている。トンネルは網の目のように張りめぐらされている。190メートル×95メートルの巨大な空間である。吉見百穴の丘だけでなく、松山城の城山の下にもトンネルは掘られた。

洞窟の入口は2箇所あり、奥の方に続いているが、今は閉鎖されている。

松山高等学校記念館

松山高等学校記念館



Googleマップ

いったん東松山駅に戻る。駅から北へ19分歩くと、松山高校があり、校庭内に松山高等学校記念館が建っている。

1923（大正12）年に建築された旧制松山中学校舎の本館一部をここに移築したものである。建物はカラフルな洋館である。その前の庭園もきちんと手入れが行き届いていて美しい。

建物の玄関には、「松山高校教育資料館」という看板がある。玄関の右には、「松山高等学校記念館」の説明板がたつ。玄関の左には、「県立松山中学校建設碑」という石碑も立っている。

記念館の展示は松山高校に関するものである。中には入れず、見学するためには予約が必要らしい。

松山高等学校のオフィシャルサイトは、<https://matsuyama-h.spec.ed.jp/>

住所は、〒355-0018 埼玉県東松山市松山町1-6-10

「東松山散策まっぷ」

松山高等学校記念館

「東松山散策まっぷ」

東松山市観光協会



松山高等学校記念館から東松山駅に帰るときは、少し遠回りして街歩きを楽しもう。

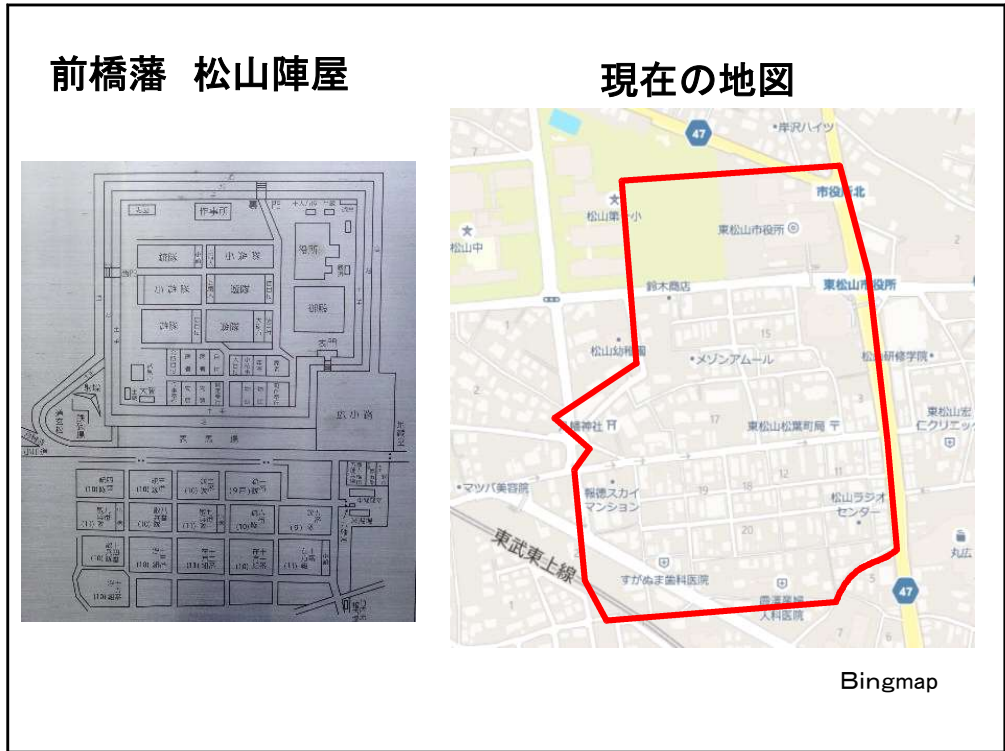
駅前の東松山市観光協会でもらえるパンフレット「東松山散策まっぷ」に沿って帰ってみよう。上沼公園、夢小路、下沼公園などを通して駅に戻る。

松山陣屋跡



東松山市観光協会が出しているパンフレット「東松山散策まっぷ」に沿って、東松山市役所を通ると、市役所の敷地内に、「松山陣屋跡」の説明板がある。前橋藩の飛び地がここにあり、それを管理するための陣屋が置かれた。市役所の出張所といったところか。

前橋藩 松山陣屋 現在の地図



松山陣屋跡の説明板には地図も載っている。
 地図で「役所」と書かれているのは、今の東松山市役所の場所に当たる。
 「御殿」と書かれているのは、今の市役所分館。
 「広小路」と書かれているのは、今の武蔵銀行。
 「鉄砲場」と書かれているのは、今の八幡神社。
 これらを今の東松山市の地図に当てはめて見ると、上の地図に示すように、かなり広い敷地であることがわかる。

TJ-32 武蔵嵐山駅

ももとは菅谷駅であったが、林学者の本多静六が、このあたりの溪谷が京都の嵐山に似ているので「武

蔵の国の嵐山」と命名し、観光客が来るようになったので、武蔵嵐山駅と改名した。この嵐山溪谷は駅から歩いて30分ほどである。与謝野晶子の碑がある。

また、近くには、鎌倉時代に作られた城である菅谷館（すがややかた）の跡があり、埼玉県立嵐山史跡の博物館で解説されている。このあたりの比企郡には、中世の城跡がいくつか残っている。

TJ-33 小川町駅

万葉集の注釈で有名な学問僧の仙覚が晩年に住んだ町である。これにちなんで「万葉集に触れるまちなか散策コース」70本のモニュメントが設置されている。

●第5区間 山間区間 東武竹沢～寄居

小川町から終点の寄居町までは山の中を上っていくので、仮に山間区間と呼んでおこう。6つの駅があり、小川町と寄居町を通る。

TJ-37 鉢形駅

川の博物館

東武東上線の終点のふたつ前が鉢形駅である。駅から20分ほど歩いて荒川の河川敷に行くと、埼玉県 川の



博物館（かわはく）がある。近くに河川敷のキャンプ場がある。

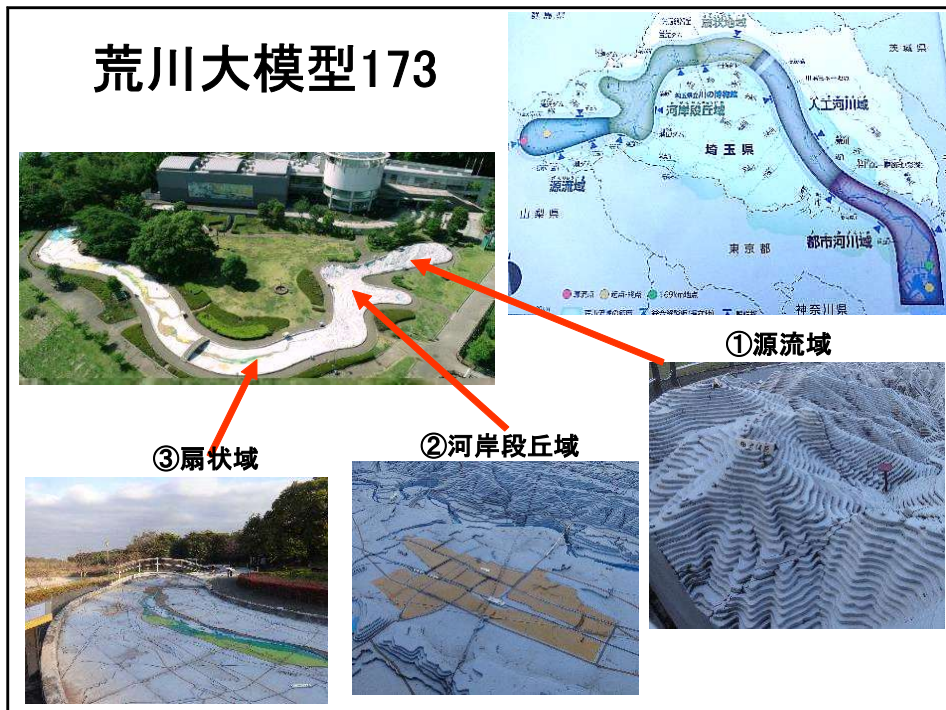
オフィシャルサイトは、<https://www.river-museum.jp/>

住所は、〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町小園39

近づいていくと、日本一の大きさ（直径24メートル）の「大水車」が見えてくる。入場料を払って入る。本館には、荒川に関する展示があり、凝っていて面白い。

しかし、何と云っても、川の博物館の目玉は「荒川大模型173」である。

荒川大模型173の大迫力



「荒川大模型173」は、以前に「タモリ倶楽部」で取りあげられていて、一度は行って見たかった。

荒川の源流から河口（東京湾）までの流れ173キロメートルの地形を1000分の1に縮小した巨大立体模型である。173キロメートルを1000分の1にしたので、173メートルある。日本一大きな室外模型とのことで、迫力

がすごい。解説員が全体を30分で解説してくれるツアーがあり、「ガリバーウォーク」という。確かにガリバーになったような感じで見るができる。これを「タモリ倶楽部」では再現していた。

荒川のしくみ

迫力があるだけでなく、川と地形のしくみがよく理解できる。荒川は5つの流域に分けられる。①源流域、②河岸段丘域、③扇状地域、④人工河川域、⑤都市河川域である。各区に説明板と補助板が設置してある。

等高線を忠実に再現しているのので、①源流域では、川によって深い谷が削られたようすがよくわかる。これまで述べた川のエネルギーのすごさを実感させてくれる（寄居駅の荒川の崖など）。

②河岸段丘と③扇状地域では、川と街のなりたちがよくわかる（秩父、長瀨、寄居など）。①～③の区間がそのまま秩父鉄道の路線となっている。荒川にかかる150余りの橋や鉄道などはステンレス製の模型で作っている。

④人工河川域と⑤都市河川域では、荒川は、新河岸川と並行して走り、東武東上線とも重なる（吉見町、川越、志木、板橋区）。東武東上線は、巨視的には、荒川の氾濫域を望む台地のへりを走っている。これまで出てきた板橋区の北側の複雑な地形は、荒川の氾濫域に流れ込む川が作ったものである（ときわ台駅の淑徳大学付近や、東武練馬駅の谷など）。この模型は東武東上線のレジュメでもある。

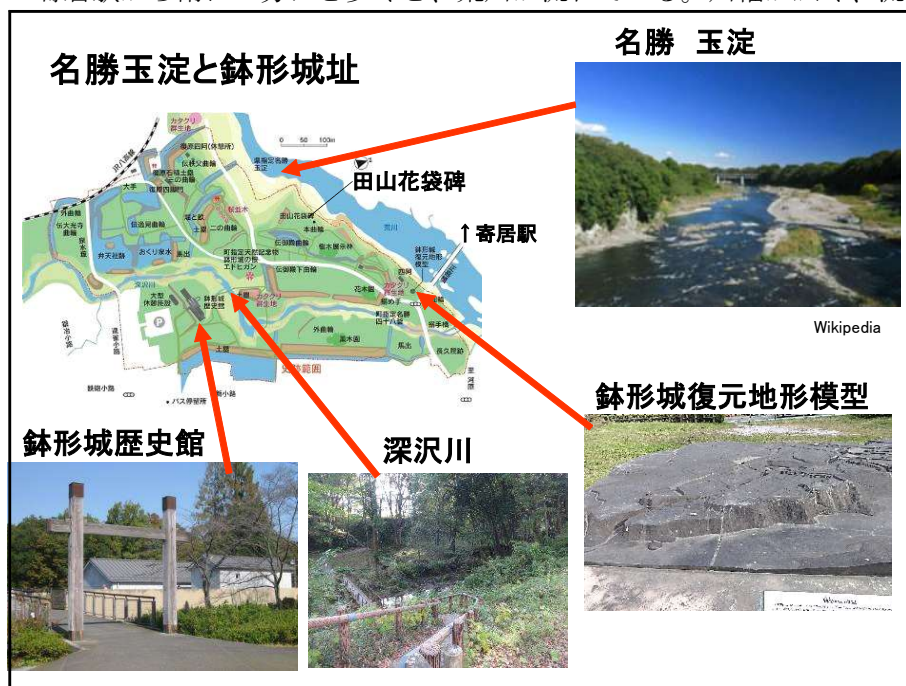
このように、川の誕生から死までの一生がパノラマで見られる。川という何の変哲もないシステムが、いかに面白いものかをわからせてくれる。こういう模型があちこちで作られてほしいものだ（バブル時代の産物なのだろうか）。東武東上線の終点近くまでわざわざやってきたかいはある。オススメである。

TJ-39 寄居駅

東武東上線の終点は寄居駅である。駅から20分ほど歩くと名勝玉淀と鉢形城址がある。

名勝玉淀と鉢形城址

寄居駅から南に10分ほど歩くと、荒川が流れている。川幅が広く、流れも速い。玉淀河原からみる荒川と



鉢形城の断崖は「名勝玉淀」と呼ばれ、すばらしい眺めである。昔はここに旅館があつて、玉淀観光だけを楽しむ客で賑わっていたのもよくわかる。ただし、河原は工事中で中に入れなかった。

荒川にかかる正喜橋は、高度があり、渡るのは少しスリルがある。橋を渡って対岸に行くと、すぐに鉢形城址のある鉢形城公園である。

鉢形城は、戦国時代の代表的な城で、何回か実際の戦場となった。1476年から長尾景春が築城し、1560年には北条氏邦が城主となった。1574年には、上杉謙信が攻めてきて、周辺が燃えた。1590年には、豊臣秀吉軍の前田利家と上杉景勝らに攻撃され、籠城戦の末に降伏した。城主の北条氏邦は、前田利家の家臣となった。

鉢形城は、荒川と深沢川にはさまれた天然の要害に作られている。これは入口にある鉢形城復元地形模型を見るとよくわかる。よくこれほど城に適した地形もない。少し行くと、田山花袋の碑が立っている。

公園の中には、鉢形城歴史館がある。そこに降りていく時に深沢川を渡るが、このあたりは自然の残る静かな場所である。寄居町の花であるタカクリの花が咲いていた。

鉢形城歴史館のオフィシャルサイトは、<https://www.town.yorii.saitama.jp/site/rekishikan/>

住所は、〒369-1224埼玉県大里郡寄居町大字鉢形2496-2

東武東上線の寄居駅は、秩父鉄道とつながっている。東武東上線で終点までいったら、秩父鉄道で長瀨や秩父に簡単に足を伸ばすことができる（後述）。

●第6区間 生越線

東武生越線は、始発の坂戸駅から終点の生越駅まで8つの駅がある。坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町を通る。この沿線にも多くの大学がある。

TJ-42 西大家駅

東京国際大学 坂戸キャンパス



越生線の西大家駅から歩いて5分ほどのところに東京国際大学の坂戸キャンパスがある。

東京国際大学のキャンパスは、前述のように、①第1キャンパス、②第2キャンパス、③坂戸キャンパスがある。①と②は霞ヶ関駅にある。

西大家駅に、駅とキャンパスの関係がわかる写真看板があった。

坂戸キャンパスは、総合グラウンドなどがあり、スポーツ教育の拠点である。「東京ドーム4個分の広さです」と案内図に書いてある。強化クラブに所属する学生はここで練習し、また、一般学生も体育の授業でこのキャンパスを利用する。第1・第2キャンパスとの間はバスの往復便が運行されている。

東京国際大学のオフィシャルサイトは、<https://www.tiu.ac.jp/>

坂戸キャンパスの住所は、〒350-0245 埼玉県坂戸市四日市場81-1

なお、キャンパスの正門のところに、「万葉遺跡 大家が原歌碑」がある。このあたりは「大家が原」と呼ばれた土地で、すでに万葉集にも読まれているほど、古い歴史を持っている。東武東上線沿線には万葉集に関係した土地がいくつかある。

TJ-43 川角駅

城西大学 明海大学 日本医療科学大学

城西大学 明海大学 日本医療科学大学



Googleマップ



「坂戸の四季を楽しむウォーキングコース」⑫花と美術館コース



生越線の川角駅の副駅名が「城西大学前」である。川角駅から南に城西大学をめざす。歩いて15分ほどのところに、城西大学、明海大学、日本医療科学大学の3つがある。その途中にはお寺や神社があり、静かな雰囲気である。

このコースは、坂戸市商工労政課の「坂戸の四季を楽しむウォーキングコース」で「⑫花と美術館コース」として紹介されている。西大家駅を出発して、城西大学グラウンドを通り、多和目城跡を周り、城西大学の水田美術館と水田記念館を見て、川角駅に至る9キロメートルのウォーキングコースである（所要1時間50分）。

「坂戸の四季を楽しむウォーキングコース」のパンフレットは、坂戸市商工労政課のウェブサイトからpdfでダウンロードできる。他にも坂戸市の散歩コースをたくさん紹介している。

<https://www.city.sakado.lg.jp/site/pannhurette/407.html>

城西大学・城西短期大学

川角駅から南に15分ほど歩くと、城西大学に着く。

城西大学・城西短期大学



大学のホームページより



城西大学は、1918年に創立された城西実務学校を母体としており、1965年に、政治家の水田三喜男らを創設者として城西大学が設置された。この坂戸キャンパスのほかに、法人本部として紀尾井町キャンパス（東

京都千代田区) を持っている。

坂戸キャンパスには、経済学部、現代政策学部、経営学部、理学部、薬学部がある。

このキャンパスには、城西短期大学もある。学校法人城西大学は、城西大学と城西短期大学のほかに、城西国際大学（千葉県東金市）という3つの大学を持っている。

大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.josai.ac.jp/>

住所は、〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

城西大学薬用植物園



大学のホームページより

高麗川と多和田橋

大学のホームページより

キャンパスの正面には塔のようなオブジェが立っている。

キャンパスの南側を高麗川（こまがわ）が流れており、多和田橋が架けられている。このあたりは川幅が広く、眺めがよいため、散歩するのは気持ちがよい。

高麗川に面して、大学薬学部の薬用植物園がある。ふだんは一般公開もしているが、コロナ禍により現在は学内者のみ。

ウェブサイトにはYouTubeの説明画像がある。 <https://www.josai.ac.jp/yakuyou/index.html>

水田美術館

前述のように城西大学内に水田美術館があり、一般公開している。この美術館は、大学の創始者水田三喜男が蒐集した浮世絵コレクションを母胎として、1979年に開館した。城西大学の水田記念図書館棟8階にあったが、今は独立した建物がある。コロナ禍により閉館していたが、2020年12月からオープンした（見学は予約制）。

明海大学



大学のホームページより



城西大学の北側には明海大学があり、東側に日本医療科学大学がある。

3大学は隣り合っているが、たまたまそうなったわけではなく、いわば城西大学グループを形成しているからである。明海大学は**城西**歯科大学、日本医療科学大学は**城西**医療技術専門学校として出発していることからわかるように、城西大学グループを形成している。城西大学が薬学部、明海大学が歯学部、日本医療科学大学が保健医療学部というように、医学部に関連した学部が設立されている。おそらく、多くの大学のように、医学部設立をめざしているのかもしれない。

明海大学は、1970年に城西歯科大学として設置された。城西大学の創立者でもある政治家の水田三喜男が創設者であり、場所も城西大学（千葉県浦安市）の隣であった。1988年に明海大学（めいかいだいがく）と名称変更した。「明海」とは、浦安市の明海という地名から来ている。ただし、浦安市の明海は、「めいかい」ではなく、「あけみ」と読むそうである。

明海大学は、坂戸キャンパス（歯学部）と浦安キャンパス（外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部）を持っている。

坂戸キャンパスの正面に明海大学病院がある。この病院には、歯科のほかに、内科、耳鼻咽喉科、眼科がある。病院の前には、いろいろなオブジェや石碑などが並んでいる。病院の後ろのほうに、歯学部の建物が、さらに奥はグラウンドになっている。

大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.meikai.ac.jp/>

坂戸キャンパスの住所は、〒350-0283 埼玉県坂戸市けやき台1-1

日本医療科学大学



大学のホームページより



城西大学の東側に、日本医療科学大学がある。

1960年に設立された城西レントゲン技術専門学校をもちに、1984年に城西医療技術専門学校が設立された。これをもとに2007年、日本医療科学大学が設置された。もともとの名称からわかるように城西大学グループに属している。

保健医療学部のもとに、診療放射線学科、リハビリテーション学科、看護学科、臨床工学科があり、2021年から臨床検査学科が開設予定という。

キャンパスの建物はまだ新しい。もとの**城西医療**技術専門学校の「城西医療」という看板が残っている。

大学のオフィシャルサイトは、 <https://www.nims.ac.jp/wp/>

住所は、〒350-0435 埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276

新しき村

電車で行ける武者小路実篤の聖地巡礼



武者小路実篤（1885～1976年）は、公卿の家系である武者小路家に生まれた。学習院で学び、ここでの仲間だった志賀直哉・有島武郎・有島生馬らと同人誌『白樺』を出した。これによって「白樺派」と呼ばれるようになり、武者小路は白樺派の思想的な支柱となった。『友情』や『愛と死』などの小説で知られる。戦後には公職追放の処分を受けた。晩年は『馬鹿一』や『真理先生』などの芸術家を主人公とする小説を発表した。

1918年に、武者小路らは、理想的な村落共同体を作ろうとして、宮崎県の山の中に「新しき村」を建設した。彼自身が6年ほど住んだが、その後は東京に戻った。新しき村は、ダムの建設で水没することになり、1939年に、一部が埼玉県のある地に移転した。それ以来、農業を中心とした生活を送っており、卵、シイタケ、米、野菜、茶、筍、竹炭などの生産・販売で生計を立てている。土地改良材としての鶏糞も販売しているとのこと。今の村内生活者は13名とのことである（ウェブサイトによる）。

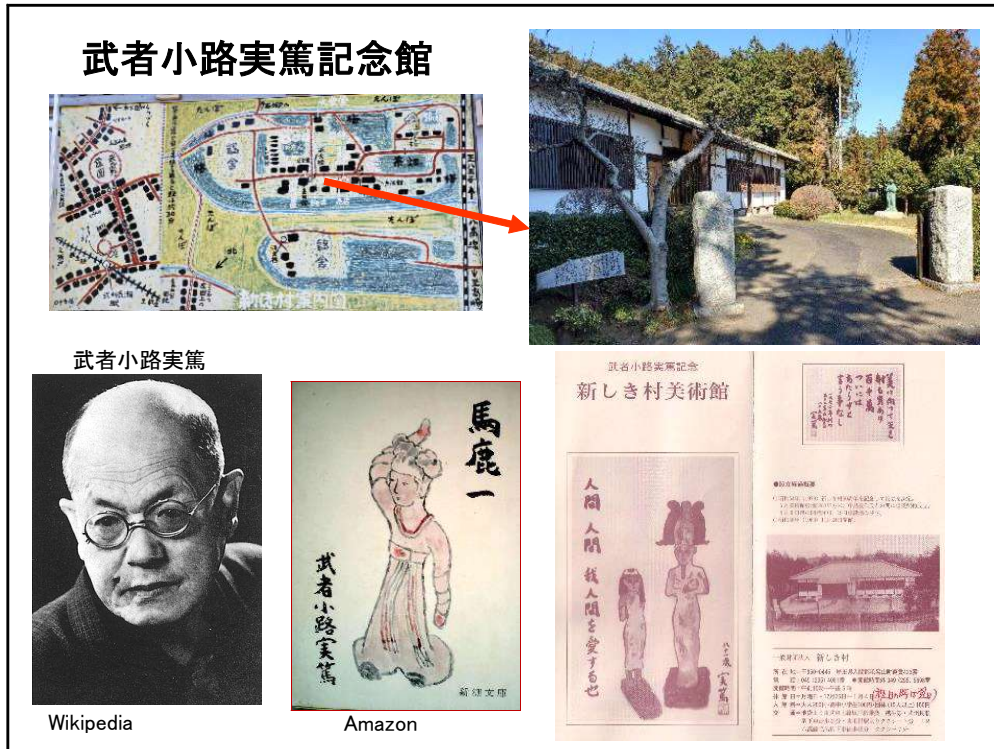
村の地図が公会堂の壁にかかっている。周囲が田んぼに囲まれた丘のようになっていて、周りの集落からは隔離されている。周りの田んぼで米を作っている。村の中は、農機具や農作業用の建物がたくさんある。

それに混じって、武者小路実篤記念館や、新しき村の歴史的建造物、公会堂、ギャラリー、売店などが建っている。

オフィシャルサイトは、 <http://www.atarashiki-mura.or.jp/>

住所は、〒350-0445 埼玉県入間郡毛呂山町大字葛貫423番地1

武者小路実篤記念館



村の中心に武者小路実篤記念館がある。武者小路が描いた絵や原稿など400点が展示されている。武者小路と親交のあった長与善郎、千家元麿、倉田百三、中川一政らの作品も展示されている。また、図書館では、実篤の作品、新しき村に関する資料などを見ることができる。

わが青春の武者小路実篤

中学～大学にかけて私は『友情』や『愛と死』を何回も読んだ。人生で初めて小説を自分のものとして読んだ。また、現代国語の教科書にのっていた『馬鹿一』や『真理先生』などの作品もよく読んで、白樺派の理想主義は心の指針ともなっていた。しかし、非現実的すぎて飽きてしまうところもあった。

「新しき村」の武者小路実篤記念館はいわば青春の「聖地」であった。わざわざ飛行機で宮崎まで行かずとも、通勤電車で1時間で行ける「聖地巡礼」であった。

わが老年の武者小路実篤

記念館を尋ねて、若い頃の読書がよみがえった。帰ってから武者小路の作品を読み返してみた。初めて読んでから50年近くたっている。すると『馬鹿一』はやはり傑作であると感じた。読むと気が楽になる。心理療法の効果がある。馬鹿一は、生活の心配をすることもなく、毎日好きな文章を書き、好きな絵を描いてすごしている。生活の心配をせず、他者の評価など気にせず、毎日芸術に没頭できたらどんなにいいことか。と、思って、考えてみたら、定年後はそんな生活も可能であることに気がついた。若い頃は生活の心配から非現実的と思っていた『馬鹿一』の世界が、定年後は非常にリアルな生活指針となった。このような文章をホームページで公開しているのもそうである。『馬鹿一』を本当に面白いと思えるのは老年になってからである（森鷗外の『渋江抽斎』などもそうであるように）。人生で二度おいしい文学。

●第7区間 秩父鉄道

東武東上線の終点の寄居駅は、秩父鉄道とつながっている。東武東上線で終点までいったら、秩父鉄道に乗り換えると、長瀨や秩父に簡単に足を伸ばすことができる。

秩父鉄道のアカデミックで文化的な面を紹介しよう。

長瀨駅

秩父鉄道 長瀨駅 岩畳と赤壁

秩父鉄道に乗り換えて、15分ほどで長瀨駅に着く。駅を出て荒川に降りていくと、天然記念物の「岩畳」



と対岸の「赤壁」の雄大な絶景を見ることができる。川下りのボートも有名。

なぜこのような地形が生まれたのか知りたくなる。NHK『ブラタモリ#80 長瀨』では、片理、節理、川の浸食などの原理がわかりやすく説明されていた。

「地球の窓」長瀨



「地球の窓」長瀨の現地案内板

あちこちに「地球の窓」長瀨というわかりやすい案内板がたっている。「地球の窓」というのは、地下深くで起こった岩石の変成作用が地表で見られることを表現したものである。『ブラタモリ』でもこのことが強調されていた。

岩畳の現地案内板

国指定 名勝・天然記念物「泉源」

岩畳のおいたち

大正3年(1914年)に岩畳は、幅(東西)80m、長さ(南北)500mあり、パイルが並ぶような構造をもつ、うすくはげやすい岩石でできています。この岩石は、大昔の海面上にあった岩盤が、火山灰などが降下深くへ落ちこまれて、高い圧力と温度のもとで変化した岩石で「結晶片岩(けつせいはんせき)」といわれます。

このようにしてできた結晶片岩は、長い年月の間に地下20~30kmの深部から上昇し、ついに地表に顔を出すようになりました。結晶片岩にみられるゆるい曲や歪曲(だんそく)は、岩石に大きな力がはたらいた証です。

地表にあらわれた結晶片岩は、荒川の水の力によって削られ、今のよう美しい深谷(けいこ)と岩畳が完成しました。

① 秩父赤壁

岩畳のそばには、「秩父赤壁」の名が刻まれている高さ100m、幅500mもある大きな断崖(だんが)があります。この断崖は、荒川が岩石の節理に沿って浸食してできたものです。

② 横臥しゆう曲

岩畳の対岸にある巨岩(きょがん)も、石の節理(せつり)に沿って崩れ落ちたように見えます。「横臥しゆう曲」は、大きな力で岩石が曲がったものです。

③ 四十八沼

岩畳の対岸には、口十ヶ沼(くじゅうかづま)と呼ばれる小さな沼が並んでいます。これらは、荒川の浸食作用によってできたもので、水は沼の中の湧き出しによって湧き出しています。

④ 男滝・女滝

岩畳の対岸にある男滝・女滝(おとめふす)は、荒川本流の谷をけずり、岩石の力が変化により、谷の両側に流れ落ちています。このように、谷の両側に流れ落ちる谷は、このように形成されています。

⑤ 節理と断層

岩畳の表面にみられる節理(せつり)のうす、割れ目は、大昔の地殻変動(ちかくへんどう)によって生じたものです。節理に沿って、岩石が割れていくのがよく見えます。これらの割れ目は、このように形成されています。

⑥ ポットホール

岩畳の上には、かつて荒川が流れていた跡(あと)が残っています。荒川が流れていた跡(あと)は、長い年月をかけて削り取られてきた「ポットホール」(pot hole)と呼ばれる窪み(くぼみ)がいくつかあります。

⑦ 虎岩

岩畳の対岸には、自然の神妙(しんめう)な造形(ざうけい)の岩(いわ)があります。この岩は、長い年月をかけて削り取られてきた「虎岩」(torokawa)と呼ばれる岩(いわ)です。このように、岩の造形(ざうけい)は、このように形成されています。

⑧ 小瀨の瀨

岩畳の対岸には、自然の神妙(しんめう)な造形(ざうけい)の岩(いわ)があります。この岩は、長い年月をかけて削り取られてきた「小瀨の瀨」(kōsei no sei)と呼ばれる岩(いわ)です。このように、岩の造形(ざうけい)は、このように形成されています。

岩畳は、長さ500メートル、幅80メートルの巨大な岩塊で、ポットホールや沼などのいろいろな地形がある。この岩塊は、地下20~30キロで形成された結晶片岩である。それが地殻変動でたまたまこの地に現れた。この地球の窓を通して、われわれは岩石形成の過程を知ることができる。さらに、荒川の浸食作用により階段状になった。対岸の「赤壁」は、断層によってできた。断層の間を荒川が浸食して長い垂直の壁ができた。

長瀨に「哲学の道」？

長瀨に「哲学の道」

哲学の道

岩畳を歩いて行くと、哲学の道と呼ばれる狭い道になる。駅前の案内板には哲学の道 (esplanade of philosophy) と書かれていたが、現地に行くと道標などもなく、ただ小さな道が続くだけである。「哲学の道」といえば、ドイツのハイデルベルクの「哲学者の道」、イェナの「哲学者の道」が有名で、私のハイデルベルク論やシェリング論、ヘーゲル論でも取りあげた。また、京都の「哲学の道」もよく知られている。これらは有名な哲学者が散策したコースだったことからこう名付けられた。なぜ長瀨に哲学の道があるのか、誰か哲学者が散策したのかなど調べてみたが、結局わからなかった。

途中の道は傾いていて歩きにくい箇所があった(真ん中の写真)。道が終わりかけたところに、「台風19号の影響で道が荒れています。岩畳には通り抜けできません。通行する際にはお気をつけください」という貼り紙で出していた。

上長瀬駅

哲学の道の終点には、地質学発祥の地碑が立っている。場所的には、秩父鉄道の上長瀬駅に近い。

長瀬は日本地質学発祥の地

1878年、地質学者のナウマンが長瀬で地質学を調査した。ハインリヒ・ナウマン (Heinrich Naumann、18



54~1927年) は、ドイツ人で、お雇い外国人として、東京開成学校の金石学・地質学・採鉱学の教師として招かれた。1877 (明治10) 年、東京帝国大学の地質学教室の初代教授となり、日本の地質学の基礎を築いた。彼は、フォッサマグナを発見したことで知られ、ナウマンゾウにその名を残している。部下がナウマンの妻と関係をもったことに怒って乱闘事件を起こし、裁判となって罰金刑を受けたというエピソードがある。

ナウマンが長瀬を訪ねたのは1878年は、彼が東京帝国大学の地質学教授に就任した翌年のことである。それ以来、長瀬は地質学上の重要な研究拠点となり、多くの地質学者を育て、日本地質学発祥の地と言われるようになった。

日本地質学会の発足して100年を記念して、「日本地質学発祥の地」の碑が建てられた。碑に使われた石は、赤鉄石英片岩と呼ばれ、この地域一帯に広く分布する。

自然の博物館



埼玉県立 自然の博物館

宮沢賢治歌碑



巨大なサメが覗く入口



盛岡高等農林時代の
宮沢賢治
Wikipediaより



この碑は、埼玉県立 自然の博物館の前庭に立てられている。

オフィシャルサイトは、<https://shizen.spec.ed.jp/>

住所は、〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1

自然の博物館は、1921年に秩父鉄道株式会社を作った「秩父植物鉱物標本陳列所」がもとになっている。その由来は『プラタモリ#80 長瀬』で説明されていた。1981年、秩父鉄道から埼玉県へと移管され、「埼玉県立自然史博物館」として開館した。展示物は本格的である。

秩父地域は2011年、日本ジオパークに認定された。ジオパークは、地球と人間のかかわりをテーマとする自然公園である。

宮沢賢治歌碑

博物館の向かいの月の石もみじ公園に、宮沢賢治の歌碑が建っている。

1926（大正5）年、20歳の宮沢賢治は、盛岡高等農林学校の生徒として、地質調査研究のため先生学友とともに秩父地方を訪れた。虎石を見学して、その美しさを歌に詠んだ。

つくづくと

「粹なもやうの

博多帯」

荒川ぎしの

片岩の色

宮沢賢治

秩父駅



秩父鉄道でさらに20分ほどで、秩父駅に着く。

駅の南側には、武甲山を見ることができる。セメントのための石灰岩の発掘で無残で不気味な山容になっている。駅からまっすぐ西に向かうと巨大な秩父大橋がある。日帰りでも十分小旅行気分が味わえる。

あとがき

地元を見直そう

私は通勤では30年の東武東上線ユーザーだが、これまで郊外方向の電車に乗ったことはほとんどなかった。コロナ禍によって郊外方向の電車に乗ってみることになった。すると、大学が多いことに気がつき、いろいろな名所もあることがわかってきた。地元には面白いものがたくさんある。ちょうど良い機会なので、地元を見直してみよう。

健康と大学歩き

単に健康のために「〇万歩歩こう」といったウォーキングは、苦しいだけだし、長続きしない。これに対して、目的地を決めて地図を見ながらのウォーキングは、小旅行の気分になれて楽しい。長続きもするし、結果的に健康増進にもなっている。

コロナ禍で家に閉じこもる生活は、自己への注目を高め、抑うつ気分を強めるだけである。そうならないためには、外界に関心を向け、気晴らしをする必要がある（『ネガティブ・マインドーなぜ「うつ」になる、どう予防する』坂本真士著、中公新書）。気晴らしには旅行が最もよいのだが、コロナ禍で旅行ができないのが辛いところである。旅行のかわりとなるのがウォーキングである。密を避けてバスには乗らずひたすら歩く。

大学という施設は、散歩のためのちょうどよい目標となる。大学は教育・研究機関であるが、それだけでなく、健康維持としての意義もあることをコロナ禍は教えてくれた（笑）。

コロナ期間中に、NHKの「グレートトラバース3」がよく放映されていた。三百名山を登るという目標もすばらしいが、何より日本列島を歩いて縦断するという「歩きの哲学」に感銘を受け、共感して見ていた。歩いている間は、この番組の音楽が力になった。この番組の魅力は、立体地形図でのルート説明や、ドローンを駆使した革命的な空間表現の仕方である。こうした表現方法は本論でも参考になった。

東武東上線とお笑い

本稿で参考にした映像は、『ブラタモリ#9 小江戸・川越』、『ブラタモリ#80 長瀬』、「荒川大模型173」を紹介した『タモリ倶楽部』などである。ちなみに、東武東上線で有名なお笑い芸人には、とんねるずの石橋貴明、おぎやはぎ、いっこく堂などがいる。また、池袋駅には、お笑い劇場ラスタ池袋がある。

東武東上線は大学でもっている？

鉄道では、前述のように、広告のために、施設名を入れた「副駅名」をもつ駅がある。東武東上線と生越線ではこうした副駅名が入る駅は6つある。

- ①東武練馬：大東文化大学前
- ②ふじみ野：文京学院大学前
- ③霞ヶ関：東京国際大学前
- ④高坂：大東文化大学東松山キャンパス前
- ⑤みなみ寄居：ホンダ寄居前
- ⑥川角：城西大学前

このように、6つのうち5つの広告主は大学である。東武東上線は大学でもっているといってもよいかもしれない。

また、コロナ禍の東武東上線に乗って驚いたことがある。電車内の広告が、ふだんは企業の広告が多かったのに、コロナ禍では大学のものばかりになっていたことである。企業の財政が苦しくなったためなのか、あるいは乗客が減って広告効果が薄れたためか、企業の広告がほとんどなくなってしまった。たいへんな経済的危機にあると実感できる。早く元に戻ることを祈るばかりだ。とはいえ、逆に言うと、大学はコロナ禍でもしぶとく生きているということである。東武東上線は、ますます大学でもっているようになったのかもかもしれない。

*本稿では、グーグルマップを引用した。また、各大学のホームページからキャンパスマップを引用した。

写真は、出典明示のあるものを除けば、すべて自分で撮ったものである。

丹野義彦：東京大学名誉教授（元東京大学 教養学部 心理・教育学部会教授）

●元のページに戻る

<http://tannoy.sakura.ne.jp/>